

地方史情報 111

2012年10月

参詣曼荼羅の研究

大高 康正

参詣曼荼羅は山伏・比丘尼・勧進聖等によって携帯され、各所に持ち運ばれて、その場でその内容を絵解きすることで勧進活動の必須道具となっていたとも考えられてきた。それはこの一群の作品を使用していた使用者とみなされる勧進聖が、本願としての役割を担って奉加活動を諸国で行っていたという歴史的背景がある。各々伝えてきた参詣曼荼羅を本質的に明らかにするには、作品が対象としている寺社・霊山の当該期の組織や構造を考察し、歴史的な背景の中に位置づけていかなければならないだろう。

本書は各種参詣曼荼羅を総括して、その展開過程を改めて検討していきたいと思う。これまでの研究で参詣曼荼羅とは16～17世紀という限られた期間にのみ作成されてきたと定説づけられてきた。(中略)参詣曼荼羅の研究とは、中世後期から近世初期にかけての寺社の経済基盤を考える上で、ひとつの素材にも成り得るのではないか。参詣曼荼羅が作成された寺社では、信仰を拠所とした勧進活動が行われたことが確実だからである。但し、参詣曼荼羅に描かれた図像を検討するのみでは、この視点は明らかにし得ない。参詣曼荼羅の研究には、作品を有する寺社の内部構造や、勧進活動を行っていた組織の実態を明らかにする必要がある。

参詣曼荼羅が伝わる寺社では、作品そのものの使用目的から考えれば、勧進活動が行われていたことは間違いないものと思われるが、その勧進活動がどのような階層の者によって、どういう目的で行われていたのか、またその勧進活動は寺社全体の意志であったのか。実際に参詣曼荼羅が伝わっている寺社の内部構造や勧進活動を検討することによって、参詣曼荼羅が作成されていった背景を明確にできるのではないだろうか。

本書ではこうした研究視角をもって、各種参詣曼荼羅の作成主体について個別事例を整理し、比較検討することによって、参詣曼荼羅が作成されることになった当該期の社会を歴史的に捉えることもでき、かつ参詣曼荼羅の展開もその中に位置づけることが可能になるのではないかと考えている。

(大高康正著『参詣曼荼羅の研究』、2012.8、小社刊、序章より)

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆帯広百年記念館紀要

〒080-0846北海道帯広市緑ヶ丘2

TEL0155-24-5352 1983年創刊

◇30 2012.3 A4 51p

帯広市大山緑地・若葉の森ペイト

トラップ調査(1)―腐肉ペイト

トラップによる採集された甲虫

類について

伊藤 彩子

帯広市新産外来種ハイコウリント

ンボポ Hieracium pilosella L. 持田 誠

帯広市南の森西で発見された周氷

河現象 藤山広武／川名淳二／右谷征

靖／小出隆一／高倉祐一／平

譯正勝／井上隆／村石靖

俵物・昆布類―松前・蝦夷地と南

部藩領を事例に

菅原 慶郎

帯広百年記念館植物標本目録(4)

伊藤捷夫氏収集植物目録(離弁

花類、ヤマゴボウ科・スベリヒ

ユ科・ナデシコ科・アカザ科・

ヒユ科・モクレン科・マツバサ

科・クスノキ科・カツラ科・ア

ケビ科・キンボウゲ科・スギナ

モ科・メギ科・センリョウ科・

ドクダミ科・ウマノスズクサ

科・マタタビ科・ツバキ科・オ

トギリソウ科・モウセンゴケ

科・ケシ科・アブラナ科)

平成23年度 帯広百年記念館の主

な行事一覧

◆文化情報 北海道文化財保護協会

〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目

かでの2・7ビル9階 TEL011-231-4111

www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/

◇331 2012.5 B4 4p

文化財との対話

阿部 敏夫

道有形文化財に、2件指定／平成

24年度通常総会 6月9日(土)

道内文化財散歩 オホーツク〈紋

別・網走・遠軽・北見〉の海と

森の文化を訪ねて

重要文化財 旭川偕行社復元の一

話

舟山 廣治

平成24年度の活動方針などを承認

第1回役員会(4月24日)

北国のイネ物語(中)

佐々木多喜雄

文化財と私 道教委選定児童文化

財の六十周年『子ども盆おどり

唄』その光と影

野村 武雄

文化財を守る 震災特集

災害時に備える文化財施設対策

について

高久 忠明

罹災文化財の修復と博物館 植

物標本の救出活動を通じて考

える

持田 誠

文化財を守る 震災特集

東日本大震災と埋蔵文化財

越田賢一郎

読者の声

第27回北方圏国際シンポジウム、

厳寒だったアイヌ時代

山田 雅也

足寄動物化石博物館今年の重点

書籍紹介

澤村 寛

十勝の森林鉄道 小林實 山田 大隆

旭川市蛇紋岩地帯の植物

旭川市北邦野草園

他団体等寄贈の刊行物等

◆北海道地域文化研究

北海道地域文化研究会

〒004-8631札幌市厚別区大谷地西2-3-1

北星学園大学 高橋克依研究室気付

2009年創刊

◇4 2012.3 A4 46p

巻頭言 「文化」を考える

阿部 敏夫

雪はね技術考―採炭と造材からル

ーツを探る

小西 信義

『北海道の口碑伝説』の底流

斉藤 大朋

本別町勇足地区における移住期の

演劇活動

高橋 克依

コーホート型観光施設のあり方に

関する研究 記念館の原初と歴

史について

宮本 陽子

資料紹介 「日鑑記」にみる地震

津波記録

車塚 洋

新ひだか町三石の津波伝承

斉藤 大朋

栗山市街の草創期

ト部 信臣

書評 阿部敏夫著『北海道民間説

話〈生成〉の研究』を読む

倉石 忠彦

◆北方博物館交流

(財)北海道北方博物館交流協会会誌

〒060-0003札幌市中央区北三条西7丁目1

緑苑ビル1006号 TEL011-241-2989

1986年創刊

◇23・24 2012.3 B5 46p 1000円

巻頭言 東日本大震災に人間の歴

史を想う

松本 建策

事業報告 2010・11年の事業報告

と新年度の計画

柏倉 勝雄

北海道北方博物館交流協会設立25

周年記念講演会「追憶のロシヤ

ーハバロフスク叙景1989～2011

ー」講演録

岡田和也／カーチャ

オランダ博物館の旅

野村 崇

カラー写真特集

モンゴル高原に旧石器遺跡を探る高倉 純

北サハリン博物館交流の旅(3)

ティモフスコエからアレキサン

ドロフスク・サハリンスキーを

巡る

遠藤 龍畝

富良野出土のイノシシと須恵器の

廳について

杉浦 重信

『北海道北方博物館交流協会二五

年史』の刊行

樺太庁農事試験場開設初期の試験

調査(付 樺太庁農事試験場年

表)

舟山 廣治

◆北方民族博物館だより

北海道立北方民族博物館

〒093-0042北海道網走市潮見309-1

TEL0152-45-3888 1991年創刊

hoppohm.org

◇84 2012.3 A4 6p

企画展 ミニチュアでみる世界の

台所事情

渡部 裕

講話とギャラリートーク 世界の

台所事情

講師：宮崎玲子氏 渡部 裕

講座 トナカイの話

講師：中田篤

中田 篤

アイヌ文化講習会 アイヌの伝統

料理「ユクオハウ(シカ肉の汁)

ほか」

講師：床みどり氏 渡部 裕

展示実習 農大生が見た網走

小山 香菜

ロビー展 目からうろこの魚皮ワ

ールド／北海道立北方民族博物

館研究紀要 第21号

◆東奥文化 青森県文化財保護協会
〒030-0111青森市荒川字藤戸119-7
青森県立図書館内 年4000円 1955年創刊

◇83 2012.3 A5 140p
グラビア 平成23年度地方史研究
発表会／史跡巡り 津軽半島を
巡る旅
平成23年度青森県文化財保護行政
について 青森県教育委員会
父 肴倉弥八を語る 肴倉 宏太
座談会 郷土歴史家 肴倉弥八氏
を語る 成田副会長／盛田会長
／永峰文男／木村慎一
青森県の軍隊絵葉書 稲垣 森太
「旅日記」に見える符牒について
一野辺地町野坂忠尚家文書をて
がかりとして 鈴木 幹人
北村小松と八戸、そして八戸高校
校歌 滝尻 善英
『尾駁の牧』と下毛野氏とのつな
がりについての一考察—蝦夷の
族長、爾散南公・宇漢米公の二
つの移住蝦夷集団の動向から考
える 相内 知昭
安倍富忠 伊藤 一允

◆茂呂瀾 室蘭地方史研究
室蘭地方史研究会
〒051-0003北海道室蘭市母恋南町3-48-144
駒木佐助（連絡先） ℡0143-24-1596
年3000円

◇46 2012.3 A5 112p 1000円
巻頭言 亡き先輩を偲んで 駒木 佐助
依頼解説
室蘭市の指定文化財について(2)
谷中 聖治
室蘭市内の遺跡について(2) 松田 宏介
調査研究報告

胆振国宝室蘭郡全図の収蔵年代
への推定 松田 宏介
札幌本道の変遷 井口 利夫
札幌本道に関する「定説」への
疑問3題 井口 利夫
資料紹介
札幌『山形屋』廃業 本多新の
実弟大竹敬助操業（北海道新
聞 昭和54年5月10日号） 福田 隆三
室蘭最初の消防ポンプ『龍吐水』
井口 利夫
『室蘭地方郷土史こぼれ話』連
載総タイトル 編集担当
『わが町』連載総タイトル 編集担当
表紙写真『日本製鋼所鍛冶工場
杭打記念』 編集担当
サロン 輪西界隈の昔をたずねる
一市民活動ミュージアム展示資
料紹介 事務局
事業記録 会務報告 事務局

◆郷土史三沢 三沢郷土史研究会
〒033-0022青森県三沢市字園沢219-211
小比類巻満方 ℡0176-54-2583
2005年創刊

◇8 2012.3 B5 178p 1000円
発刊のごあいさつ 新堂 一郎
《特集 3.11東日本大震災
三沢市内の被災状況写真と体験記》
まえがき 新堂 一郎
被災状況写真 種市嗣彦／栗原隆成／赤沼
晃／馬場操／小比類巻満
震災体験記「そのとき、私は…」
三・十一 地震の思い出 新堂 一郎
そのとき、わたしは… 米谷 章子
地震 そのとき 米田 清蔵
大震災の教訓 三浦金四郎
あの時…—東日本大震災と図書

館 望月 健男
その時、私は 中里 豊子
その時、私は… 赤沼 晃
そのとき、わたしは… 蛭名 佳一
三・十一 その時、私は… 馬場 操
一般投稿 震災の日 家永 勝彦
その時、わたしは… 及川 光男
その時、私は… 小比類巻満
取材 その時、わたしは… 中里 七蔵
特別寄稿 中野トク伝(7)最終回 小菅麻起子
「安政七年」と「万延元年」と
小比類巻みつる
三沢市行政史文書「淋代牧場日録」
及川光男／古文書を読む会
むかし話(5)（富田トミノ作） 伊野 アイ
三沢の方言 動作にかかわる方言
「か行」 馬場操／地名方言研究会
三沢のむかし話 小比類巻みつる
海軍と報道 新堂 一郎
「三沢のむかしを語る会」
開催要項・開会行事ご挨拶
記録「三沢のむかしを語る会」
閉会行事ご挨拶・感想文
会報(第71号～第80号)



*2011年3月11日発生の地震と続く余震は、
北海道南岸から関東南部まで広範囲に被害を
もたらし、このことから東日本大震災と命名

されたのであるが、負傷者、家屋被害は、長
野県北部、三重県、さらには徳島県、高知県
にまで及んでいることを忘れてはなるまい。
同じ東北にありながら青森県の状況は伝えら
れることが少ない。県全体では、死者・行方
不明者4名、家屋損壊は2千近くに上る。中で
も三沢漁港の被害は甚大であった。

三沢郷土史研究会新堂一郎氏は、「特集
3.11東日本大震災特集—三沢市の被災状況」
に当って、「あの日あの時、実際にどうだっ
たのか、について幾分なりとも残したいもの
と、地震直後に間髪を入れず現地の写真撮影
に走り廻り、さらには、当会会員を通じて体
験記を募集」「のちのちの人々にとって、多
少なりとも参考になってくれればと思う」と
述べる。特集は、被災状況写真と体験記『そ
のとき、私は…』の二部からなる。状況写真
は、発生翌日の3月12日から5月9日までの三
沢漁港、海岸、三沢川河口付近などの様子を
50点近くカラーで掲載、体験記は13名が執筆
(1名は聞き書き)する。体験記では、1回目の
津波では大したことはないと思っていたが、
2回目の波の引きで漁港の海底が見えるくら
いであった(定置網船頭の中里七蔵氏)など、
生々しい状況が語られる。貴重な記録であ
り、体験を知恵として次の震災に備えて欲し
と願うものである。

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会
〒020-0102岩手県盛岡市上田字松屋敷34
岩手県立博物館内 ℡019-661-9688
1970年創刊

◇249 2012.5 A4 8p
「骨寺」の調査を継続 藤堂 隆則
津波にも負けず 復興への祈りを
舞う「鶴鳥神楽」 熊坂 伸子
津波にも負けず 郷土芸能の伝承
三上 潤

防災遺産の収集 熊谷 常正
「志波城跡」の保存整備と活用 今野 公顕
九戸城と城の主 柴田 知二
続平泉志(13)
達谷窟毘沙門堂(上) 及川 和哉
23年度は実質黒字 愛護協会の収
支決算／郷土史学習会が開講／
古文書講座も開講 「東北遊日
記」下巻を翻訳

◆とりら
ふるさと岩手の芸能とくらし研究会
〒020-0113岩手県盛岡市上田堤2-22-5
飯坂方 TEL019-662-4513 2007年創刊
www.h3.dion.ne.jp/~iwagei/torira.htm
◇6 2012.4 B5 88p 1000円
《特別版》
陸前高田市
おらほのうごくセター陸前高田
市高田町川原七夕祭組川人録
佐々木芳勝／千葉茂／村上毅彦
田東念仏鑑剣舞と震災について 千田 信男
大船渡市
三陸町綾里における芸能と災害
熊谷 常孝
大船渡の芸能を追って 佐藤 瑛子
釜石市
「夢であって欲しい」とずっと
思っていました 山本 洋佑
虎舞がある日常 菊地 博
大槌町
安渡大神楽と私の震災 濱田 力
瓦礫の中からの再興—城山虎舞
再興への旅の途中 上野 天光
山田町
いつまでも浜の人 佐藤 辰吾
山田町民の主成分はお祭りで出

来ている 白濱 和江
宮古市
宮古の三百日を振り返って 假屋雄一郎
岩泉町 大地を踏みしめて、土を
見て—中野七頭舞と私 阿部 未幸
田野畑村
小〇の村の大宮神楽と私 鈴木ゆう子
洋野町 土木作業員が見た震災 瀧音 幸司
沿岸の心意気 橋本 裕之
沿岸の民俗芸能の現状とこれから
阿部 武司
とりら海に出会う 飯坂 真紀
執筆者自己紹介／とりら三陸沿岸
の民俗芸能応援募金と報告
いわて芸能ごよみ

◆キリスト教文化研究所研究年報
宮城学院女子大学キリスト教文化研究所
〒981-0961仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1
TEL022-279-1311
◇45 2012.3 A5 139+36p
疎開地と〈詩〉—室生犀星『旅び
と』を中心に 九里 順子
松前広長『夷酋列像附録』の歴史
認識 菊池 勇夫
1840年代前半のポーゼン州におけ
るユダヤ教徒—1842年、1843年
の政府調査から 割田 聖史
日本史Bにおける大河ドラマを取
り入れた単元構成とその展開 丸山 仁
八木重吉と宮澤賢治
—〈病床ノート〉を中心に 今高 義也
「男と女はない」(ガラテヤ3.28)
をめぐる諸議論—伝統的解釈を
問い直す 新免 貢

◆東北宗教学 東北大学宗教学研究室
〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大

学大学院文学研究科 TEL022-795-6022
2005年創刊
◇6 2010.12 A5 158p
イスラームにおけるタウバとキリ
スト教におけるコンバージョン、
そして仏教における廻心—
各聖典を中心とする比較考察 徳田 幸雄
平成20年代初頭における仙台市内
「どんと祭」の開催時間帯の特徴
高橋 嘉代
G・J・ヘルトの呪術論—西洋的
「宗教」概念への懐疑とその攪乱
相澤 里沙
イスラームの死生観—タバリ—の
クルアーン解釈における二つの
生と二つの死 澤井 真
ラインホルド・ニーバーの現実
主義と宗教 澤井 治郎
翻訳 太陽と月の諍いと敵対—フ
ィリピン、インド、およびマレ
ー半島の諸神話への寄与
ルドルフ・ラーマン／森田未咲訳
学びの周辺 回想—第7回合同研
究室の日々 橋本 武人
自著を語る 変貌する女神たち
—山妣からマリアまで 山形 孝夫

◆東北文化研究室紀要
〒980-0862仙台市青葉区川内 東北大学大
学院文学研究科 1959年創刊
◇53 2012.3 B5 70p
仙台藩儒学者芦東山の生涯と関係
史料の伝来・構成 付「芦東山
記念館所蔵史料目録」 大藤 修
大分県早水台遺跡下層出土石器群
と東海地方二遺跡の比較研究 柳田 俊雄
陸羽東線沿線地域における方言音
の動態について 内間 早俊

◆秋田県公文書館研究紀要
〒010-0952秋田市山王新町14-31
TEL018-866-8301 1995年創刊
www.pref.akita.lg.jp/koubunsyo/
◇18 2012.3 B5 106p
講演録 「地域災害・水害と文化
財・歴史資料レスキュー」—新
潟県を中心に 矢田 俊文
講座記録 徳川林政史研究所公開
講座 in 秋田「史料に見る江
戸時代の森林」
報告1 図像・映像に見る江戸時
代の伐木・運材 太田 尚宏
報告2 秋田藩林政と森林資源の
保続 脇野 博
報告3 秋田藩における銅山用山
林の経営計画 芳賀 和樹
質疑応答
佐竹北家文書・佐竹西家文書につ
いて 佐藤 隆
「秋田県庁旧蔵古文書」における
廃藩置県以後資料—ISAD(G)
を応用した構造分析 柴田 知彰
秋田県公文書館における普及活動
の進展 齋藤奈美／太田研
小坂鉦山における自家用発電に関
する考察 神居 正暢

◆秋田県公文書館だより
〒010-0952秋田市山王新町14-31
TEL018-866-8301 1995年創刊
www.pref.akita.lg.jp/koubunsyo/
◇27 2012.3 A4 8p
デジタル閲覧スタート!! 「絵図
検索データベース」のお知らせ
表紙解説 「薬師寺村外九ヶ村申
出図」(県C-248)
資料紹介

金光家文書―楠流軍学の家
 平成23年度秋田県公文書企画展
 「公文書館資料に見る近代秋田
 の電気事業」／秋田県公文書館
 巡回展「戦国時代の秋田展」開
 催
 徳川林政史研究所公開講座 in 秋
 田「史料に見る江戸時代の森
 林」／平成23年度公文書館講座
 平成23年度市町村公文書・歴史資
 料保存利用推進会議／公文書の
 引渡し・公開状況
 大好評!!「県政映画上映会」一懐
 かしき昭和30年代の我が秋田
 ますます充実しました 閲覧室か
 らのお知らせ／平成24年度行事
 予定

◆東北芸術工科大学東北文化研究センター
 研究紀要
 〒990-9530山形市上桜田3-4-5
 TEL023-627-2168 2002年創刊
 gs.tuad.ac.jp/tobunken/
 ◇11 2012.3 A4 157+9p
 縄紋時代早期論(中) 安斎 正人
 種子島広田遺跡のオオツタノハ製
 貝輪―現生貝調査からみた素材
 採取地と採取法、加工法 忍澤 成視
 明治初頭～10年代における漁村の
 秩序と変容―伊豆国内浦重須村
 を対象に 中村 只吾
 新潟県粟島における在来農業とマ
 メ類―焼畑・畑作・牧畑の周辺
 岸本 誠司
 沖縄西表島のイノシシ猟にみる括
 り猟の生態的特徴 蛭原 一平
 「苦聡人」はなぜ森に戻りたいの
 か?―狩猟採集から農耕定住へ

の21世紀における葛藤 謝 黎
 ガラス乾板のデジタル化と課題―
 東北文化研究センターアーカイ
 ブスの現場から 井筒 桃子

◆南陽の歴史 南陽の歴史を知る会会報
 〒999-2232山形県南陽市三間通361-8
 須崎寛二方 TEL0238-43-5299
 ◇188 2012.4 B5 22p
 長井線の旅 須崎 寛二
 大橋舟問屋 長谷部文蔵 須崎 寛二
 肝煎と百姓頭 須崎 寛二
 諸産業の発展と天保の飢饉―第
 210回学習会、及び総会の報告

◆郡山地方史研究 郡山地方史研究会
 〒963-8876福島県郡山市麓山1-8-3
 郡山市歴史資料館内 TEL024-932-5306
 1965年創刊
 ◇42 2012.3 A5 107p
 陸奥二本松領郡山村名主の系譜に
 ついて 大河 峯夫
 亜欧堂田善の魅力 加藤 義久
 守山の太元帥明王堂と別当寺・僧
 坊 高橋 明
 郡山市の中世城館(8) 郡山館／
 大安場古墳城／柴塚城／御代田
 館／正直館／白山館／特定館／
 金屋館と平館 広長秀典／垣内和孝
 「原家日記」より 佐藤 新一
 東日本大震災特集
 安積歴史博物館大震災被災体験
 記 国分 敏雄
 瞬きの間に倒壊した石蔵 岡部 文介
 三・十一東日本大震災について
 細田 栄
 史料紹介 享保八・九年の阿武隈
 川の洪水と徳定村の移転に関す

る史料 松本 和子
 平成23年度郡山市文化功労賞等授
 与報告
 会員出版図書紹介／事務局日誌

関 東

◆茨城県立歴史館報
 〒310-0034水戸市緑町2-1-15
 TEL029-225-4425
 www.rekishikan.museum.ibk.ed.jp
 ◇39 2012.3 B5 120p
 水戸藩前期における付家老中山家
 の位置とその確立 沼津 佳子
 茨城県教育研修センター移管資料
 の整理から 野内 正美
 研究ノート 中世下妻地方と真宗
 飛田 英世
 資料紹介
 信太郎諏訪廃寺跡の瓦 川又 清明
 新発見資料「西山御山家絵図」
 「梅里先生碑陰銘」について 永井 博
 平成23年度地域共同史料調査概要
 報告 歴史資料課・行政資料課
 茨城県立歴史館日誌(39)

◆泉 石 古河歴史博物館紀要
 〒306-0033茨城県古河市中央町3-10-56
 TEL0280-22-5211 1990年創刊
 www.city.koga.ibaraki.jp/rekihaku/
 ◇10 2012.3 B5 40+47p
 資料紹介 雀神社日記 山口 美男
 調査報告 五部のナンマイダンボ
 と初雛子 立石 尚之
 奥原晴湖画室「繡水草堂」復元模
 型 加藤 誠洋
 野木町野渡出土の銀杏葉―古河歴
 史博物館所蔵の銀杏葉と古河市
 の古墳 及川 謙作

個人住宅建設に伴う柳橋地区内埋
 蔵文化財調査報告書「北新田A
 遺跡」 古河市教育委員会

◆歴史地理学野外研究
 筑波大学人文社会科学研究所 歴史・人類
 学専攻歴史地理学教室
 〒305-8571つくば市天王台1-1-1
 TEL029-853-4493
 ◇15 2012.3 B5 70p
 《特集 三浦半島・葉山の歴史地理》
 大正期～昭和後期の葉山町堀内地
 区における地元住民による別荘
 地経営の展開 花木宏直／福田毅／
 水島卓磨／淵澤祐介
 三浦丘陵における山野利用の変遷
 ―葉山町木古庭地区を中心にし
 て 武田周一郎／岩田明日香／山石勉
 明治～大正期の静岡県田方郡旧西
 浦村における柑橘産地の展開と
 外来種への対応―河内地区・海
 瀬伊右衛門家を中心に 花木 宏直
 水産都市三浦三崎におけるマグロ
 料理と地域変化 小口 千明

◆歴文だより 栃木県歴史文化研究会会報
 〒320-0865栃木県宇都宮市睦町2-2
 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
 年4000円 1991年創刊
 ◇83 2012.4 A4 4p
 《特集 中世宇都宮氏》
 宇都宮氏シンポジウムの開催 松本 一夫
 中世宇都宮氏の城館を訪ねる 江田 郁夫
 戦国時代下野宇都宮氏の外交路線
 の変遷―中央政権との関係を中
 心として 荒川 善夫
 栃木県立文書館開館25周年記念企
 画展「宇都宮国綱とその時代―

戦国大名から豊臣大名へ」 月井 剛

◆群馬歴史民俗 群馬歴史民俗研究会
〒372-0031群馬県伊勢崎市今泉町1-1046-4
板橋春夫方 1980年創刊
◇33 2012.3 A5 114p
近世の村由緒と小祠―上野国佐位
郡上植木村の場合 時枝 務
上武国境地域におけるクワトリビ
ナ習俗 高橋菜々子
白井鳥酔と句碑の検討―最大山雙
林寺の鳥酔翁冢を中心に 和田 健一
研究ノート
「上毛野佐為評」の成立について―大間々扇状地西半部の初期の開発状況から 関口 功一
九～十世紀における貴族層の東
国下向―「東国配置説」の再
検討 廣瀬 亮輔
書評 由谷裕哉編著『郷土再考―
新たな郷土研究を目指して』藤井 茂樹

◆玉村通信 玉村中世史研究会
〒370-1105群馬県佐波郡玉村町大字福島
325 玉村町教育委員会生涯学習課文化財
係 中島方 TEL0270-30-6180 2011年創刊
◇2 2012.3 A4 6p
第4回例会発表記事 戦国期上野
宇津木氏の基礎的考察 築瀬 大輔
平成23年度玉村町歴史資料館企画
展「国境河川地域、玉村町の戦
国時代」成果と反省 中島 直樹
在地土器編年と環濠屋敷 黒澤 照弘
環濠屋敷遺構に関する全国的な研
究動向 飯森 康広
出版トピックス
活動レポート フィールドワーク
南玉から下之宮をたずねて 飯森 康広

活動記録

◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会
〒350-0231坂戸市泉町12-5 大圖口承方
TEL049-281-4983 年4000円 1929年創刊
◇309 (59-1) 2012.4 A5 46p
伊奈氏が造立した地藏尊
一紹介と予察 赤石 光資
説経節と騎西町 池内 正
平柳社幽峰遺文からの「月次句
合」考(1)―埼玉の俳人研究と
顕彰 岡田 博
明治43年の利根川洪水と量水標日
記(取扱人・西田佐作) 荻野 勝正
井上三河守は鉢形北条の家老か
(2)―『分限帳』の編まれた謎を
追って 栗原 一夫
近世武蔵国里修験十玉院(中) 高橋 一
表紙写真解説 年不詳阿弥陀三尊
板碑(鴻巣市下忍千手院)
口絵写真解説 坂戸永源寺の什物
―「嶋田重次郎墓誌」と「降誕
釈尊佛」
第629回 さいたま市西区指扇地
区見学
第630回 研究発表会

◆印旛郡市地域史料保存利用連絡協議会会報
〒286-0292千葉県富里市七栄652-1
富里市教育委員会生涯学習課文化班
◇16 2012.3 A4 8p
第1回研修会 「文書保存施設にお
ける普及活動の展開について」
(講師:尾崎晃氏)を聞いて 戸谷 敦司
第2回研修会 研修視察会
国立公文書館視察研修参加記 進藤 泰浩
第3回研修会(報告) 富里市高野
地区発見の「守札」に見る江戸

時代の信仰(講師:木原律子氏)
酒井 弘志

第4回研修会 「行政文書等の収
集・選別・管理に関する意見交
換会」に参加して 岩瀬 昭二
平成23年度事業報告

◆千葉県立中央博物館研究報告―人文科学
〒260-0852千葉市中央区青葉町955-2
TEL043-265-3111 1989年創刊
www.chiba-muse.or.jp/NATURAL/
◇25 (12-2) 2012.3 B5 29p
原著論文
篠崎四郎拓本史料の研究 斎木 勝

◆東邦考古 東邦高等学校考古学研究会会誌
〒275-8511千葉県習志野市泉町2-1-37
東邦大学附属東邦高等学校内
TEL047-472-8191 1963年創刊
◇36 2012.3 B5 92p
研究ノート 千葉県内の堅穴式住
居跡の面積(21) 東邦考古学研究会
武蔵国北部の郡郷と式内社をめぐ
って 坂本 和俊
4世紀代のガラス小玉鑄型とその
製品―関東地方における関連資
料の検討 酒巻 忠史
昭和10年代における国体論の諸相
一村岡・和辻・山田の国体論 寺崎 信之
オールウェズ 大久保今昔物語
一製錬炉復元操業の速報 小川 誠治
習志野に残る日露戦争関係の石碑
山岸 良二
平成23年度 夏合宿その日その日
藤井 晃吉
受贈・交換文献一覧 東邦考古学研究会
写 図

◆成田市史研究 成田市教育委員会
〒286-0017千葉県成田市赤坂1-1-3 成田市
立図書館 TEL0476-27-4646 1972年創刊
◇36 2012.3 A5 132p
平成23年度市史講座講演録『成
田の地名と歴史―大字別地域の
事典―』刊行記念「台地はかた
る」 大塚 初重
旧成田市域における学区と小学校
の変遷について 神尾 武則
聞き取り 吉江淨善氏に聞く小御
門村・下総町の暮らし 事務局
成田ニュータウンの遺跡(1) 加
良部に眠っていた平安時代の寺
高木 博彦
一石六地藏 小倉 博
史料紹介
明治19年の女性の旅日記 関 初弥
『成田の地名と歴史―大字別地域
の事典―』編集余話
大竹坂東所在の石棺石材 小川 和博
たしかな新妻氏と大須賀氏の足
跡 木村 修
嘉永七年の老母変死一件をめぐ
って 鍋木 行廣
『遠山村役場月報』の発行 中村 政弘
青年同盟会 矢嶋 毅之
市域の従前開業医 神尾 武則
碑文の調査・執筆雑感 島田 七夫
成田市史年表稿 2009(平成21)年
中村 政弘
成田市関係新聞記事目録 2009
(平成21)年
記録 平成23年1月～23年12月
新刊案内 合併5周年を記念して
「成田の地名と歴史―大字別地
域の事典―」
成田市史(下総町史・大栄町史)の

ご案内	
◆成田史談 成田市文化財保護協会 〒286-8585千葉県成田市花崎町760 成田市教育委員会生涯学習部生涯学習課文化振興室内 TEL0476-20-1534 ◇57 2012.3 B5 57p 『常陸国風土記』における「印波の鳥見の丘」の一考察 佐藤 誠 寺台の稲垣家に伝わる坂東三十三観音霊場巡礼の布帛について 中小路 純 成宗鉄道軌道跡と新発見の石標について 滝口 昭二 下総地区の歴史地名 小倉 博 動向 地域研究活動 成田市文化財保護協会について 小倉 博 指定文化財・観音堂が消失する 事務局 全国地芝居 in 成田の開催について 事務局 協会だより 平成23年度活動状況	
◆西上総文化会報 〒292-0833千葉県木更津市貝渕1-11-4 TEL0438-25-2003 ◇72 2012.3 B5 108p 巻頭言 会報72号発行によせて 藤浪 弘美 「至徳堂の碑」銘を読む 三浦 茂一 西上総にみる木食観正碑から 稲木 章宏 復元 金鈴塚の大刀 稲葉 昭智 甦る東国古墳文化の至宝 稲葉 昭智 周准郡下鳥田村と地頭・藩主林家との関わりの記録 諏訪 貞夫 源頼朝は木更津にきたか 中島 美夫 平成の大修理を終えた唐招提寺金堂 橘田 昭雄	

白秋と於菟吉と木更津 村田 峯生 農民統制の基礎制度＝五人組條目 木村 智行 狸査知 狸囃子と狸の腹鼓 関 狸亨 故郷回想(4) 曾根 英範 雑話三題 コウブシ考、放下師とアサリの味噌汁、船橋不動院飯 盛り大仏の謎 八田 英之 マドリード、ローマ、パリの旅 飯田 昭二 移動研修レポート 県名発祥の地行田市を訪ねて 橘田 昭雄 軽井沢を訪ねて 鈴木 貢 山武市・芝山町をゆく 鬼形むつ子 第591回例会 西上総文化総会と懇親会 第592回例会 移動研修Ⅰ 県名発祥の地行田市を訪ねて 第593回例会 研修発表と見学Ⅰ 復元金鈴塚古墳の大刀について 稲葉 昭智 第594回例会 移動研修Ⅱ 軽井沢を訪ねて 第595回例会 第63回西上総文化展 第596回例会 祝賀と忘年の会 第597回例会 研究発表Ⅱ 西上総にみる木食観正とその周辺 第598回例会 移動研修Ⅲ 山武市芝山町を訪ねて 文芸作品 俳句「雪の峰」 鬼形むつ子 短歌「春を待つ」 房総文芸入選 歌 石井 重雄 短歌 西上総の旅・軽井沢を訪ねて 橘田 昭雄 歴史ミニ情報 表紙の選擇寺本堂／後白河院が好んだ「今様」や「梁塵秘抄」／金鈴塚古墳から出	
--	--

土の輝く馬具―復元 平成23年度決算書／平成23年度行事報告・平成24年度行事計画／平成24年度予算書(案)	
◆房総石造文化財研究会会報 〒270-0221千葉県野田市古布内1682-3 石田年子方 TEL04-7196-3375 年3000円 1980年創刊 ◇113 2012.4 B5 10p 定期総会のお知らせ／新年懇談会のご報告／石仏見学会のご案内／石仏勉強会のご案内 木更津市小浜庚申塔の三猿 稲木 章宏 松戸市の石仏(2) 入谷 雄二 佐倉市志津石仏見学会より 祈りを込めて―早春の佐倉市志津地区を歩く 大木 英雄 石仏探訪(6) 万治の日記念仏塔 発見―房総の日記念仏塔事情 石田 年子 ◆松戸市立博物館紀要 〒270-2252千葉県松戸市千駄堀671 TEL047-384-8181 1994年創刊 www.city.matsudo.chiba.jp/m_muse/ ◇19 2012.3 A4 22+24p 研究ノート 多文化社会イギリスの博物館政策と多文化的展示 大森 隆志 資料紹介 後田遺跡から出土した脊椎動物遺体 植月 学 幕府代官小宮山空之進昌世の前歴について―享保改革と小金牧研究に向けて 小高 昭一 ◆あしなか 山村民俗の会 〒132-0031東京都江戸川区松島1-19-17 サトービル TEL03-5663-6748	

年5000円 1939年創刊 www8.ocn.ne.jp/~sanmin/ ◇294 2012.3 B5 22p 表紙解説 小千谷市山寺の毘沙門天御姿 山崎 進 小千谷市山寺の毘沙門様 ―新潟県中越地方の民俗行事 山崎 進 伊賀の祭文―歴代の事跡を訪ねて 小山 一成 南部踏鋤一分布と似かよった用具 杉崎満寿雄 民話「はなき石」は語る―東伊豆・大川の築城石と民俗伝承 邑科 久乃 あしなか通信 ◆明日を拓く 東日本部落解放研究所 〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5 TEL03-5603-1861 1993年創刊 ◇95 (38-5) 2012.3 A5 113p 1000円 《特集 南葛の教育と裁判》 特集にあたって 南葛の教育と裁判 松浦 利貞 違憲の存在としての最高裁―「日の丸・君が代」裁判を闘って 木川 恭 同和教育と私 申谷 雄二 再雇用拒否処分取消訴訟を振り返って 津田 玄児 連載 古文書を楽しむ(6)―大願祈所覚之帳(「鈴木家文書」307) 古文書を読む会 本の紹介 『道標・菅野守二十八年の歩み・追悼集』 編者・菅野 ゆかり 藤沢 靖介 ◆足立史談 足立区教育委員会足立史談編集局 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393	
--	--

◇530 2012.4 A4 4p
『江北桜譜』の画家
宮沢俊司／青木太／木村繁
棧敷功／矢内英明／高澤明
五兵衛新田のおはなし(3) 増田 光明
大鷲神社の法楽和歌の奉納者につ
いて 青木 昇
復元都営住宅のモノ語り(5)
不二家ミルキーの巻 増田 健一
江戸東郊 浪人由緒ミニ事典(4)
た行 郷土博物館
◇531 2012.5 A4 4p
白山塚と一本松
一東京都足立区花畑の遺跡 柴田 英治
千住の老舗映画館 千住演芸館と
千住金美館の開業時期について
豊田 啓孝
復元都営住宅のモノ語り(6)
象印ガーの巻 増田 健一

◆足立史談会だより
〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393

◇289 2012.4 A4 4p
教養講座「江北村のあゆみと五色
桜を育てた人びと」講師：浅
香孝子先生／五月探訪案内
コラム教育史料 終戦直後の日本
の教育(122) 新教育指針 第
一部 後編 新日本教育の原点
第五章 体育の改善／第六章
芸能文化の振興 堀川 和夫
足立区の登録文化財を観る 有形
文化財(工芸品) 蒔絵丁度類
35点／四神文鏡 1面／黒漆小
形厨子 2基／源証寺半鐘 1口
皇居東御苑訪問
3月11日・探訪報告

一四歳の少年の眼に映った千住
我が町・千住 府立中学三年
河合榮治郎

◇289別冊 2012.4 A4 4p
ポトマック河畔に桜を贈って100
年／総会関連資料

◇290 2012.5 A4 8p
平成24年度 第21期史談大学 実施
要綱／総会終了ご苦労さまでし
た／探訪実施計画／5月探訪案
内／6月探訪案内
コラム教育史料 終戦直後の日本
の教育(123) 新教育指針 第
一部 後編 新日本教育の原点
第六章 芸能文化の振興 堀川 和夫
足立史談カルタ紹介
「た」大師の釣鐘アメリカ帰り
たずね人 本木の六部
23年度活動報告から 区民研究発
表会(8月21日)／探訪会を通し
ての発見・確認など／会員と予
算／レンガ遺構調査／他団体・
組織との協力／足立のまちおこ
し活動への協力／会費について
／会員の訃報
炎天寺一茶まつり 50周年記念祝
賀会 盛大に開催される (堀)
足立の登録文化財を観る 有形文
化財(書跡) 扁額「三宮神山」
1面／扁額「月松山」 1面
探訪報告 「荒川堤の桜」を訪ねて
(東道・矢沢)
野菊の墓を訪ねる 赤田 直繁

◆あるむぜお
府中市文化振興財団府中市郷土の森博物館
〒183-0026東京都府中市南町6-32
TEL042-368-7921 1987年創刊

www.fuchu-cpf.or.jp/museum/
◇99 2012.3 A4 8p
渡り鳥ってナンダ?(4)
渡り鳥に未来はあるのか? 中村 武史
展示会案内 府中メモリアルー記
念品から見た地域の歴史 2012
年4月28日(土)～6月24日(日) 佐藤 智敬
NOTE 伊能忠敬 in 府中 馬場 治子
知人ぞ知る! 府中ゆかりの人物
(4) 伊東貫斎 花木 知子
最近の発掘調査 東京都指定旧跡
「浅野長政隠棲の跡」の濠を発掘
西野 善勝
収蔵資料あれこれ
バードカービング 中村 武史

◆稲荷山通信 八王子市史編さん室だより
八王子市総合政策部市史編さん室
〒193-0943東京都八王子市寺田町1455-3
TEL042-666-1511

◇9 2012.3 A4 8p
『新八王子市史』資料編の刊行は
じまる!
刊行計画を、一部変更しました/
販売中の図書のご案内／4月以
降に販売予定の図書
地域からの声(5)
八王子市鎌水 小泉茂さん 春日 祐美
受贈図書・資料
専門部会の動きと計画 原始・古
代部会長／中世部会／近世部会
／近現代部会／民俗部会／自然
部会
中世の八王子を語って、そして考
えるー市民講座の報告 柳沢 誠
新しい市史の編さんー市民協働を
軸に
歴史の窓(9)

『横浜毎日新聞』と八王子 宮崎 翔一

◆記録と史料
全国歴史資料保存利用機関連絡協議会
〒606-0823京都市左京区下鴨半木町1-4
京都府立総合資料館 TEL075-723-4834
www.jsai.jp

◇22 2012.3 B5 128p 1200円
特集1 東日本大震災と記録資料
東日本大震災臨時委員会の活動
について 福島 幸宏
宮城県女川町役場の被災公文書
の救援ー群馬県立文書館の活
動 岡田昭二／瀧沢典枝
新潟県長岡市における東日本大
震災避難所資料の収集・保存
田中 洋史

特集2 公文書管理法の施行
公文書管理法と京都大学文書館
西山 伸
島根県公文書等の管理に関する
条例と島根県公文書センター
について 岩崎 健児
公文書管理条例の制定と安芸高
田市の文書管理改善活動 高下 正晴
研 究
地方分権時代の文書管理 清水 恵枝
学校統廃合と学校アーカイブズ
の保存ー新潟県の事例を中心
に 山本 幸俊
アーキビストの眼
平成23年度公文書館機能普及セ
ミナー in 沖縄 公文書講演
会「公文書管理の現場からー
いま、私たちができること」
開催記録 玉川 紘子
国際シンポジウム参加記 改組
とアーカイブズ アーキビス

トのスキル 毛塚 万里

世界の窓

シニア・アーキビストの海外ボランティア活動 大西 愛

ARA&ICA／SPA エジンバラ 国際会議2011参加報告 小川千代子

アーカイブズネットワーク

九州大学大学院「ライブラリーサイエンス専攻」についてー記録管理・アーカイブに大いなる夢を託して 三輪宗弘／折田悦郎

淑徳大学アーカイブズの開館 桜井 昭男

歴史的公文書の保存・活用に係る大分県と市町村との連携・支援について 大城 博

レファレンス協同データベースへの参加 辻川 敦

書評と紹介

松岡資明『アーカイブズが社会を変える』 新原 淳弘

岡本哲和『アメリカ連邦政府における情報資源管理政策ーその様態と変容ー』 藤吉 圭二

瀬畑源『公文書をつかう 公文書管理制度と歴史研究』 山崎 一郎

資料ふぁいる 東日本大震災における機関会員の安否確認情報 会員刊行物情報

全史料協この一年

◆史学研究集録

国学院大学大学院史学専攻大学院会 〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28 Tel03-5466-0142

◇37 2012.3 A5 94p

私の古代史探究の歩み

ー最近考えることを中心に 鈴木 靖民

中世前期東国の村落構造と村役所

の機能ー鹿島神宮文書「大賀村検注取帳副日記」の分析を通して 高橋 裕文

研究ノート 古代彫刻における Venus Anadyomene の類型について 小川 滋子

活動状況(2011年4月～2012年3月)／既刊目録(1号～36号)

◆史 叢 日本大学史学会 〒156-8550東京都世田谷区桜上水3-25-40 日本大学文理学部史学研究室内 Tel03-3329-1151

◇86 2012.3 A5 64p

大正期におけるジャズの認知過程について 青木 学

研究ノート 岡本大八事件試論 小川 雄

書評 町田祐一著『近代日本と「高等遊民」ー社会問題化する知識青年層ー』 石川 徳幸

◆城郭史研究

日本城郭史学会（発売：東京堂出版） 〒174-8691東京都板橋区板橋郵便局私書箱50号 年6000円 1968年創刊

◇31 2012.3 B5 138p 2700円

城石垣を築いた石工職人に関する一考察ー16世紀の史料にみる「石切・石切共」をめぐって 西ヶ谷恭弘

江戸城の下水に関する一考察ー本丸・西の丸の中核部を中心として 野中 和夫

調査報告 徳川大坂城における石切丁場ー丁場の確保をめぐって 望月悠佑／高田祐一

碎玉類題

御土居の現状 橋本 楯夫

大石氏の瀧山城ー大石氏の瀧山

在城をめぐって 風間 西夫

石神井城・練馬城、太田氏と豊嶋氏の合戦について 長島 貴

北京近郊の長城と関城を巡る旅ー第4回中国の城郭・長城旅行会に参加して 黒川 武

城址と巨樹・名木 窪田 良彦

城郭史関係論文目録 阿部 和彦

活動報告／受贈図書紹介

◆城郭だより 日本城郭史学会会報 〒174-8691東京都板橋区 板橋北郵便局私書箱50号 1993年創刊

◇77 2012.4 A4 6p

奥飛騨に江馬氏下館が復元ー国指定史跡の室町期の庭と館・門・堀・空堀が再現

第5回 中国の城郭と長城の旅から 遼寧省大連・瀋陽・丹東へ 西ヶ谷恭弘

最近の城郭ニュースから 佐賀城 天守の礎石出土／金沢城玉泉院丸の発掘／岐阜城麓に巨大庭園

最近の注目される城郭関係図書から 河内長野市教育委員会『烏帽子形城跡』、加藤理文著『静岡の城』、谷口克広著『信長と家康』、壬生町歴史民俗資料館図録『壬生城本丸御殿と徳川将軍家』

各地の城郭研究会活動から／城郭史学会活動から／好評頒布中の報告書・出版物

◆常民文化

成城大学常民文化研究会 〒157-0066東京都世田谷区成城6-1-20 Tel03-3482-1181 1977年創刊

◇35 2012.3 A5 70p

文化現象としての擬似科学考察 三井 寛文

民俗学の研究方法としての権威的知識理論 クリスチャン・ゲーラット

受苦者の連帯可能性

ー暗闇の中の跳躍 木下 聖三

日本におけるマクスム・ゴーリキのフォルクローレ論受容について 加藤 秀雄

◆自由民権 町田市立自由民権資料館紀要 〒195-0063東京都町田市野津田町897 Tel042-734-4508 1987年創刊

◇25 2012.3 A5 164p

《特集 豪農にとつての幕末維新Ⅱ》

特集あたって

杉田仙十郎・定一父子と近代の受容 家近 良樹

豪農十代目長谷川彦八はなぜ「近代化」を担えたのか 金原 左門

武蔵国多摩郡小野路村名主小島家の政治・社会意識 岩崎 孝和

杉田定一と東洋学館 池内 啓

「小国主義」思想研究の発端について 田村 貞雄

高島千代氏の書評『自由民権運動の系譜』によせて 稲田 雅洋

書評 青柳直良『信州民権運動と地方自治制』 上條 宏之

新刊紹介 野田秋生『大分県自由民権運動史(概略)』 長野 浩典

講演録

自由民権資料館の可能性ーみんなで考えよう！ 資料館の今とこれから 鶴巻 孝雄

自由民権資料館に期待すること 安在 邦夫

民権ネットワーク

秋田県 田口勝一郎

埼玉県 鈴木 義治
千葉県 矢嶋 毅之
東京都 福井 淳
町田市 松崎 稔
神奈川県 大湖 賢一
新潟県 横山 真一
福井県 池内 啓
静岡県 加藤 善夫
京都府 飯塚 一幸
高知県 今井 章博
福岡県 黒木 彬文
鹿児島県 久米 雅章
旧幕臣 樋口 雄彦
田中正造 赤上 剛
文学 西田谷 洋

自由民権運動関係文献情報(25)
おもな購入図書・資料一覧／個人
寄贈図書・資料一覧
開館25周年記念公募 受賞作文・
ポスター

◆全国歴史資料保存利用機関連絡協議会会報
〒606-0823京都市左京区下鴨半木町1-4
京都府立総合資料館 TEL075-723-4834
www.jsai.jp

◇91 2012.3 B5 80p
《第37回京都大会特集号》
大会テーマ「地域社会とともに歩
むアーカイブズー公文書管理法
時代を迎えてー」
開会行事
会長あいさつ 井口 和起
開催地あいさつ 池本 武広
開催地あいさつ 富岡 賢治
来賓あいさつ 小河 俊夫
総 会 田辺 孝夫
記念講演会「公文書管理法への思
いと期待」 福田 康夫

大会テーマ研究会 趣旨説明
全体会Ⅰ 報告1「全史料協東
日本大震災臨時委員会活動」
全史料協東日本大震災臨時委員会
全体会Ⅰ 報告2「東日本大震
災被災地からの報告ー公文
書・歴史資料の被災とアーカ
イブズの役割についてー」 山内 繁
全体会Ⅱ 報告1「札幌市公文
書館がめざすもの」 竹内 啓
全体会Ⅱ 報告2「公文書館機
能の自己点検・評価指標」
新井浩文／早川和宏
資料保存ワークショップ 阿久津智広
ポスターセッション
研修会A アーカイブズ入門ーア
ーカイブズ像の変化 丑木 幸男
研修会B 災害レスキューから見
えたこと 西村慎太郎
研修会C 地方公文書館の立場か
ら見た公文書管理法の意義と課
題 石原 一則
研修会D
歴史的公文書等の調査と整理 白井 哲哉
開催県関連企画
群馬県立文書館視察研修会の参
加記 中元 幸二
「富岡製糸場」視察参加レポート
大海 崇代
大会参加記 横山遼／西村芳将
第37回全史料協全国(群馬)大会を
終えて 小高 哲茂
三重県における台風12号に係る被
災状況及び対応についての報告
服部 久士

◆全日本郷土芸能協会会報
〒107-0052東京都港区赤坂6-7-14 パーク

ハウス赤坂氷川102 TEL03-3583-8290
年2000円 1995年創刊 www.jfpaa.jp
◇67 2012.4 A4 24p
壬生の花田植
広島県山県郡北広島町
公益社団法人移行にあたって
会員の皆様へ 中嶋 春洋
明治天皇百年祭／日中友好国際交
流事業／平成24年度総会のご案内
内／新たな国指定など／平成24
年度高円宮殿下記念地域伝統賞
決定／「全国の地芝居と農村舞
台」調査報告書刊行
東日本大震災後の全郷芸と会員の
動き 東日本大震災後一年を振
り返って／震災後一年ー全郷芸
支援活動
東日本大震災ー郷土芸能復興支援
のプロジェクト事業 支援方針
決定
東日本大震災ー郷土芸能復興支援
のプロジェクト事業 民俗芸能
で広がる子供の世界 第14回全
国こども民俗芸能大会・第9回
伝統文化研修セミナー／次世代
継承支援
第15回全国獅子舞フェスティバ
ル・掛川／平成23年度「第6回
獅子博物館表彰式」／瑠璃寺開
創九百年祭
松平流傍目八目(41) 東日本大震
災で考えること(4) 松平 誠
葛畑のオンリーワンを全国へ(兵
庫県養父市) 第22回全国地芝
居サミット in やぶ／かながわ
伝統芸能祭 地芝居2012開催報
告 11回目を迎えた「かながわ
伝統芸能祭 地芝居」

会員紹介地芝居系) 菅生一座(東
京都 野口金雄代表)／美濃歌
舞伎保存会(岐阜県 美濃歌舞
伎博物館 小栗幸江館長)
寄稿 第21回全国地芝居サミット
に参加して
倉沢人形歌舞伎代表 菅野 芳治
地芝居団体活動報告 歌舞伎サー
クルうぶ(埼玉県 山口健司代
表)／三善研究所 メイクアッ
プ講習会
地芝居探訪(42) ぐんま郷土芸能
の祭典「伝統歌舞伎公演」／信
州農村歌舞伎／東濃歌舞伎中津
川
第14回全国子供歌舞伎フェスティ
バル in 小松／NPO法人大津
祭曳山連盟(滋賀県 白井勝好
代表)／地芝居公演情報 4月下
旬～5月／秩父歌舞伎保存会
初の掛け舞台公演
地芝居見聞(7) 黒森歌舞伎ー山
県の雪中芝居／東濃歌舞伎中津
川保存会 吉例歌舞伎大会 北河 直子
地芝居あれこれ(6) 舞台から見
えた風景ー初舞台をふりかえっ
て 蒲池 卓巳
民俗楽器(43) ハワイのひょうた
ん打楽器 イブ(後) 山本 宏子
ユース活動報告
誌上講座(67) 文化芸術とコンテ
ンツの関わりを考察 中坪 功雄
会員公演情報 2012 4月～7月
会員紹介 伊丹アイフォニックホ
ール 兵庫県・館長 坂本 浩
会員情報／会員情報／会員かわら
版 芸能を訪ねてー会津彼岸獅
子(西嶋一泰)

BOOK良書紹介 「日本のしきたり30の謎」、「日本の祭り大図鑑」、「なごや飲食夜話」
寄贈いただいた資料
2012年1月～3月

◆**大道芸通信** 日本大道芸・大道芸の会
〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
光田憲雄 TEL03-3307-2146
www.k5.dion.ne.jp/~daidogeji/

◇**238** 2012.4 A4 2p 100円

菊人形と活(生)人形
大締一代記(23) (原作)藤本甲南
／(著作)光田憲雄

◇**239** 2012.5 A4 2p 100円
『我衣』が載せる諸事初め
大締一代記(24) (原作)藤本甲南
／(著作)光田憲雄

◆**多摩地域史研究会会報**
〒190-0011東京都立川市高松町1-16-2
文化財COM内 TEL042-521-0186
1991年創刊 tamatiken.web.fc2.com

◇**103** 2012.5 B5 12p
第77回例会報告「大正期敷設の送電施設を訪ねる―高圧送電線谷村線廃棄鉄塔―」見学会報告 坂田 宏之

新刊紹介 東大和郷土史グループ
みちの会編『武蔵国多摩郡後ヶ谷村杉本家文書(安政年間)上・中・下巻』

最近の展示紹介 東大和市立郷土博物館収蔵資料展「やきものの民具」／パルテノン多摩歴史ミュージアム特別展 聖地を巡る行者と庶民

お知らせ／新しいワーキンググループについて

多摩地域史研究会 第21回大会報告 多摩・中世寺院の諸様相―多摩における中世寺院の機能・役割を考える

◆**調布の文化財** 調布市郷土博物館
〒182-0026東京都調布市小島町3-26-2
TEL042-481-7656 1986年創刊

◇**47** 2012.3 A4 8p
市指定有形文化財「深大寺毘沙門天立像」の修復事業 赤城 高志

新指定有形文化財(考古資料)「下石原遺跡一括出土銭及び収納容器」 長瀬 出

新指定有形文化財(歴史資料)「野口平一家資料」 立川 明子
文化財講演会抄録 山田朗氏「陸軍登戸研究所―戦争の記録と記憶・保存と活用」

報告 第6回東京都文化財保存整備区市町村協議会総会／第54回調布市郷土芸能祭ばやし保存大会／東京文化財ウィーク2011／第58回文化財防火デー／第24回多摩郷土誌フェア／平成23年度調布市文化財保護審議会

◆**伝 え** 日本口承文芸学会
〒182-8525東京都調布市緑ヶ丘1-25
白百合女子大学 関宮史子研究室
TEL03-3326-5144 年4000円
1987年創刊 ko-sho.org

◇**50** 2012.3 B5 12p
これは学会の課題ではないでしょうか 昔話研究と一般・子ども向け昔話本、昔話絵本の乖離 小澤 俊夫
学会への提言 野村 典彦
仲間たち

「地域学」の困惑 難波美和子
歌謡研究会―ウタに魅せられた仲間たち 永池 健二
こ え

伝統音楽文化の継承と創造
―日本から見た中国の今 新堀 敏乃
渋谷の語りと研究とのコラボレーション―渋谷民話の会×温故学会×國學院大學語りと伝承の研究会 飯倉 義之

外国通信
中国トン族の民間故事の旅から 花部 英雄
『シベリア 神話の旅』を終えて 齋藤 君子

各地からの報告 津波と口承文芸―2011年の宮城県の活動記録 川島 秀一
事務局便り

◆**東京産業考古学会 NEWSLETTER**
〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
多田統一方／〒352-0011埼玉県新座市野火止4-8-43 柚須紘一方 FAX03-3964-8548
tias3.web.fc2.com

◇**94** 2012.5 A4 6p
日本語ワープロ第一号
小山新会長の就任ごあいさつ 小山 徹
行事予定
博物館シリーズ(7) 国産第1号の電子計算機 FUJIC(フジック) 小野田良智

報告 産業考古学基礎講座―建築・土木に関する産業遺産を理解するために―第1・2回 堀内 仁之
報告 講演会 水道考古抄 柚須 紘一
短信 「津波遺産」候補地の公募／電気学会、第5回「でんきの礎」を認定／化学会、ピニロン等を

化学遺産に認定 平井 東幸
2012年度 第1回理事会の議事概要
茨城県土浦市の赤煉瓦建築物(8)
その他の赤煉瓦造(3) 八木 司郎

◆**日本民俗音楽学会会報**
〒190-8520東京都立川市柏町5-5-1
国立音楽大学 山本幸正研究室気付
www.s-jfm.org

◇**36** 2012.3 B5 24p

巻頭言 藤井 知昭
〈特集 日本民俗音楽学会第25回沖縄大会
大会テーマ「故郷を演ずる人々」〉

沖縄大会カメラレポート
シンポジウム・民俗音楽公演
沖縄県国頭地方安田の臼太鼓
安田郷友会 シンポジウム
「故郷を演じる人々」を終えて 遠藤 美奈

沖縄県八重山地方竹富島種子取祭のスル掬い狂言 沖縄竹富郷友会 芸能と郷友会活動―沖縄竹富郷友会の「スル掬い狂言」を通して 狩俣 恵一
研究発表余話

アイヌ民族の文化―話されない言葉、歌われない歌 萬 司
秋田県北部の1人立3匹獅子舞について 桂 博章
郷土の変貌と祭りの芸能の行方

星野 紘
掛け合いと音楽教育など 伊野 義博
研究発表を終えて 小林 幸男

平成23年度日本民俗音楽学会総会報告 長谷坂栄治／高橋隆二
日本民俗音楽学会大会・民俗音楽研究会年次実施記録 小野寺節子
初の3学会連携企画「東日本大震

災 被災地の民俗文化財報告会」
入江 宣子
被災地に届け！“魂の唄と響き”
梅若清瑛トーク&ライブ「津軽
三味線のチカラ」 尾原 昭夫
第1回例会の開催 事務局
常置委員会から
機関誌編集委員会 岩井 正浩
調査研究委員会 伊野 義博
追悼 岡田寛斎氏を偲んで 安田久美子
学会関連情報 日本音楽教育学会
2011年度関東地区例会 山本 幸正
受贈刊行物紹介 会報編集委員会
会員の動向 山本 幸正

◆練馬郷土史研究会会報

〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
吉越正博方 TEL03-3996-4454
1956年創刊
◇339 2012.5 A4 4p
「練馬」「のりぬま」地名を考える
(2) 葛城 明彦
練馬の城を往く(4)
練馬城(練馬区向山3丁目) 八巻 孝夫
豊島氏関係史料を読む(15) 戦国
期宮城氏の位置と太田氏(3) 伊藤 一美
昭和史雑感 昭和天皇と將軍達
(14) 真崎甚三郎(11) 鎌田 茂男

◆ぶい&ぶい 無為無為 日本史史料研究会

〒171-0041東京都練馬区石神井町5-4-16
2008年創刊 www.17.plala.or.jp/t-ikoma/
◇23 2012.4 A5 20p
土佐一条家祇候の中御門家の系譜
をめぐって 末柄 豊
時衆研究への提言 秋月 俊也
惣社長尾顕忠の「討死」に関する
一史料 田中 宏志

◆民具研究 日本民具学会

〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学日本常民文化研究所内
TEL045-481-5661 年5000円
www.soc.nii.ac.jp/nmg/
◇145 2012.3 B5 100p
香時計(時香盤)の史料と伝世品—
平安時代から安土桃山時代まで
神野 善治
被災施設支援の一方法としての資
料調査—原野農芸博物館所蔵の
船を例として 板井 英紳
明治45年『木材の工芸的利用』に
見る江戸東京と周辺地域での箆
籠の生産と流通 服部 武
民具資料の整理
—考古民俗学的方法論の試み 用田 政晴
ひろば
八王子市郷土資料館特別展「家
内安全・無消息災一庶民の願
い」から 美甘由紀子
民具製作技術保存会の活動につ
いて—40年の歳月を迎えて 松島 忠久
第132回 日本民具学会研究会報
告 梅野光興／織野英史
第133回 日本民具学会研究会報
告 「災害と民具」—原野農芸
博物館を例として 大島 幸子
第134回 日本民具学会研究会報
告
収蔵民具の課題と展望 高橋由美子
飯能市・名栗民俗資料室の民
具の保存活用について—こ
れまでの経過と今後の課題
宮本八恵子
展示批評・展示紹介
氷見市立博物館特別展「氷見の
手仕事—職人の手業と用の美

—」 榎 美香
東京都東村山市 東村山ふるさ
と歴史館「収蔵品展 押絵羽
子板」 三浦久美子
千葉県立中央博物館 企画展
「出羽三山と山伏—はるかな
る神々の山をめざして—」 島立 理子

◆民俗音楽研究 日本民俗音楽学会

〒190-8520東京都立川市柏町5-5-1
国立音楽大学 山本幸正研究室気付
www.s-jfm.org
◇37 2012.3 B5 62p
ブータン歌謡ツァンモ
—掛け合いと占いの諸相 伊野 義博
釜石市立第一幼稚園における虎舞
の取り組みに関する調査報告—
民俗芸能継承活動が子どもの成
長に果たす役割についての一考
察 松本 晴子
〈第25回大会報告「故郷(ふるさと)を演じる
人々」〉(2011 沖縄)
シンポジウム「故郷(ふるさと)を
演じる人々」コーディネーター 金城厚／
パネリスト 遠藤美奈・狩俣
恵一・懸田弘訓／コメンテー
タ 久万田晋・藤井知昭
特別講座「沖縄の民俗芸能の分類」
久万田 晋
研究発表要旨
アイヌ伝統音楽の教材化
—ウポボの音楽的特徴 萬 司
「安里屋ユンタ」の教材化の有
効性—音楽文化についての理
解を深める視点から 山本 幸正
黒川能の伝承現場における演技
に関する言説についての考察
柴田 真希

秋田県北部の「獅子・駒・奴踊
り」の伝承法と伝承組織につ
いて 桂 博章
郷土の変貌と祭りの芸能の行方
星野 紘
ブータン歌謡ツァンモ
—掛け合いと占いの諸相 伊野 義博
沖縄本島本部の臼太鼓—その特
徴と現在の伝承 小林公江／小林幸男
平成23(2011)年度 日本民俗音楽
学会活動報告

◆民俗芸能研究 民俗芸能学会

〒169-8050東京都新宿区西早稲田1-6-1
早稲田大学演劇博物館内 TEL03-3203-4141
年6000円 1985年創刊
◇52 2012.3 A5 135p
〈第136回研究例会
東日本大震災被災地の民俗文化財報告会〉
福島県の無形民俗文化財被災状況
報告 懸田 弘訓
岩手県の無形民俗文化財被災状況
報告 阿部 武司
宮城県の無形民俗文化財被災状況
報告 小谷 竜介
被災地の無形民俗文化財復興支援
状況報告 橋本 裕之
質疑応答 俵木 悟
嘶し田における所作と歌謡進行の
メカニズム—安芸地方を中心に
松井今日子
佐原囃子におけるシャギリの考察
坂本 行広
書評 三村泰臣著『中国地方民間
神楽祭祀の研究』 藤原 宏夫

◆郵便史研究 郵便史研究会

〒112-0011東京都文京区千石2-42-7

田中寛方 TEL03-3945-2497 年3500円
 1995年創刊 www.yuubinshi.sakura.jp
 ◇33 2012.3 B5 54p 2000円
 前島みちのく放浪記 菊地 勇治
 文献リサーチ イギリス地方郵便
 史の文献について 星名 定雄
 軍事郵便はがきに見る帝国海軍の
 所在地区別符・部隊区別符 赤須 秋王
 史料紹介
 ていばーく(通信総合博物館)資
 料紹介(17) 正午計 井上 卓朗
 小包送票異聞(7)
 在中国局の小包送票 加藤 秀夫
 旧刊紹介(7) 『通信教育史』 鈴木 克彦
 甲斐国上黒駒局のK G印引換願
 金沢 真之
 埼玉県におけるK G印の新郡名
 表示について 上遠野義久
 郵便史研究会
 会長挨拶 浅見 啓明
 会告 復刻資料、資料文献の分
 譲
 2011年度総会・研究発表会の報
 告
 Duncan Campbell-Smith Maste
 rs of the Post: The Authorized
 History of the Royal Mail
 London: Penguin Allen Lane
 2011 879pp. 星名 定雄
 ◆小田原史談 小田原史談会
 〒250-0003神奈川県小田原市東町1-21-18
 平倉正方 TEL0465-34-8363
 年3000円 1961年創刊
 odawara-shidan.hustle.ne.jp
 ◇229 2012.4 B5 28p
 報徳の伝道者(1)
 浅田勇次郎のこと 青木 良一

小田原の郷土史再発見 鏡信一刀
 流三代林嘉藏と職務・左官頭 石井 啓文
 小田原宿山角町「水島屋(旅館休
 所)」 中村 静夫
 小田原藩浅田兄弟の敵討
 『孝貞義鑑』散策(12) 鈴木 好
 「小田原大秘録」に寄せて 小野 意雄
 小田原大秘録(巻一から巻三まで
 の読み下し文) 第一回巻一の一
 鳥居泰一郎
 小田原史談会 第12代会長
 小野意雄さん追悼 鳥居泰一郎
 成田山新勝寺初詣と房総風土記の
 丘の旅 杉山虔一／山口隆夫
 旅のつれづれ俳句日記 剣持 芳枝
 平成24年度『小田原史談会』総会・
 講演会のお知らせ／江戸時代の
 小田原宿を歩きませんか！
 ◆開国史研究 横須賀開国史研究会
 〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11 横
 須賀市政推進部文化振興課内
 TEL046-822-9478 年1000円 2001年創刊
 ◇12 2012.3 A5 163p 800円
 口絵資料紹介・解説
 「アメリカ船図」 齋藤 純
 『開国史研究』発刊にあたり 山本 詔一
 総会記念講演
 湊町浦賀の人びとの暮らし 吉田ゆり子
 開国史講演会「黒船」を見た人
 びとーペリー艦隊浦賀来航を目
 撃した記録からわかってきたこ
 と 齋藤 純
 論文 下田港の台場について 浅川 道夫
 史料を読む
 『横須賀繁昌記』を読む(2) 山本 詔一
 『浦賀奉行 井戸石見守筆記』を
 読む(2) 大出 鍋藏

研究レポート
 異国船来航と炊き出しについて
 (1) 山本 慧
 柴田使節団の派遣と任務、及び
 帰国後の動向について 塚越 俊志
 書評 今津浩一著『ペリー提督と
 開国条約』 岩下 哲典
 研究会一年の活動 事務局
 ◆市史研究 横須賀
 横須賀市総務部総務課
 〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11
 TEL046-822-8150 2002年創刊
 ◇11 2012.3 A5 152p 500円
 軍都横須賀の旅館文化
 一新井屋旅館の資料から 山本 志乃
 戦後自治体の海外都市提携とアメ
 リカー横須賀市の場合 大西比呂志
 旧横須賀製鉄所副長官官舎(通称
 ティボディエ邸)の海軍におけ
 る使用の変遷について 水野 僚子
 横須賀における中心市街地の特質
 とその変容ー明治末期～昭和初
 期を中心に 伊藤 久志
 市民が語る横須賀ストーリー 海
 軍航空隊技術廠会計部での貴重
 な経験ー影井道之祐さんに聞く
 調査報告 大津古墳群の調査(2)
 (1号墳の出土遺物) 稲村 繁
 横須賀市史編さん日誌(抄)
 ◆市史通信 横浜市史編集室
 〒220-0032横浜市西区老松町1 横浜市中
 央図書館地下1階 TEL045-251-3260
 2008年創刊
 www.city.yokohama.jp/me/gyousei/housei/sisi/
 ◇13 2012.3 A4 12p
 ハマのモダンボーイ・モダンガー

ル 羽田 博昭
 横浜市史資料室所蔵「関東大震災」
 画像データ目録の整備 吉田 律人
 台所ゴミで豚を飼う 百瀬 敏夫
 展示会アンケートより 木許 文子
 開架資料紹介 横浜市史資料室刊
 行物コーナー 木許 文子
 市史資料室より
 ◆湘南考古学同好会々報
 〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-
 19-104 寺田兼方方 1980年復刊
 ◇127 2012.4 B5 16p
 民俗学と祭祀遺物 伊藤 郭
 さば神社を考える(17)
 鉄をつくる 西村堅一郎
 心の考古学まで(1) 古栗 祐慶
 「第29回藤沢市遺跡調査発表会」に
 参加して 御代 七重
 特別陳列「石に魅せられた先史時
 代の人びと」を見学するー考古
 博物館(東博考古展示室)の有難
 さ 米 諄
 バスツアー「相模原市の史跡・博
 物館見学」に参加して 鈴木 均
 「かながわの遺跡展」を見学して 梶山 昇
 「第7回若手研究者を囲む勉強会」
 (平成24年4月8日 発表の要約)
 近年における青銅器研究とその
 問題 楠 恵美子
 平成23年度湘南考古学同好会
 活動の記録 野村 和子
 ◆戦争と民衆
 戦時下の小田原地方を記録する会
 〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21
 井上弘方 1980年創刊
 ◇68 2012.3 A5 16p

聞き取り 姉に語った子どもの頃の戦争の話 飯田匡／飯田耀子
書籍出版のご案内 本会8冊目の書籍いよいよ出版へ『語り伝えよう小田原の戦争体験』
資料紹介
敗戦後の国民学校の教育資料 飯田 耀子
交流報告
戦災・空襲の記録づくり第27回
東海交流会参加記 矢野 慎一
8月6日に広島市を訪ねて 矢野 暁
調査報告 広島戦争遺跡(広島市・呉市)踏査報告 矢野 慎一
講演報告「戦時下の小田原」 井上 弘
最近の『戦争と民衆』目次(第64号～第67回)
カンパありがとうございます

◆扣之帳 扣之帳刊行会
〒250-0021神奈川県小田原市早川60
青木良一方 TEL0465-22-8852
年2500円 2003年創刊
hikaenochou.world.coocan.jp/mysite/
◇35 2012.3 A5 116p 500円
樸々先生座談―「石語庵」訪問記 橋本 樸々
「樸々先生座談補助図」 中村 静夫
『はなかがみ』 橋本 樸々
橋本樸々先生 岸 達志
小田原城「四つ門口」変遷考 田代 道彌
酒匂だより「春を待ちつつ」 町田紀美子
狭山北条氏の菩提寺 今川 徳子
ボクの映画館(15) 映画の中の駅
と列車を巡る風景 平倉 正
随想二題―蜘蛛の巣の絵と西丹沢
の遭難 佐宗 欣二
足柄を散策する(15) 文学遺跡を
尋ねて 熱海路を行く 杉山 博久
心の耳 石川 和彦

富士フィルム㊤渡満隊の思い出 瀬戸 長治
歌舞伎を彩った人々(7)
澤潟屋兄弟と十四代守田勘彌 田中 豊
わが愛する明恵上人(下) 茂木 光春
映画案内／新九郎ギャラリー

◆三浦一族研究 三浦一族研究会
〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11
横須賀市政策推進部文化振興課内
TEL046-822-8116 年1000円 1997年創刊
◇16 2012.3 A5 225p 800円
口絵資料紹介・解説
「琵琶血脈」(部分) 真鍋 淳哉
ごあいさつ 吉田雄人／石黒幸雄
総会記念講演
海をひらく三浦一族 本郷 恵子
論文
三浦氏と房総正木氏 滝川 恒昭
中世南秋田郡三浦氏と系譜につ
いての一考察 安部川智浩
シンポジウム
基調講演「三浦義村と中世国家」
高橋 秀樹
シンポジウム報告 事務局
基礎講座 人物編 第1回「三浦
為継・義継―三浦氏の「神話」か
ら歴史へ―」／第2回「三浦義明
―実像と伝説―」／第3回「岡崎
義実・真田義忠―石橋山合戦の
記憶―」／第4回「三浦義澄―幕
府草創期の宿老―」／第5回「佐
原義連―全国展開の礎―」 高橋 秀樹
学習講座第1回
鎌倉御家人と城館と道 落合 義明
学習講座第2回 16世紀末におけ
る征夷大將軍就任の条件につい
て 真鍋 淳哉
史跡めぐり

平成23年度 第1回～3回 荒井 正美
会員コーナー
平成23年度第2回史跡めぐり「逗
子田越川に沿って鑑摺岬へ」
に参加して 坪 三次
伊勢原史跡石田城址に関わる石
田家の伝承 石田 久二
矢部一族の調査について 矢部 武司
平家落人伝説の里を訪ねて 岩永 律男
三浦一族研究会 平成23年度史
跡めぐりに参加して 佐々木 成
三浦一族関係文献目録(16)
研究会一年の活動 事務局

◆民具マンスリー
神奈川大学日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL045-481-5661 年3500円 1968年創刊
◇529 (45-1) 2012.4 A5 24p 350円
コレクションの来歴情報としての
文化財レスキューカルテ 加藤 幸治
資料としての文化財レスキュー 沼田 愛
道具と俗信 鍋と鍋蓋(1) 常光 徹
◇530 (45-2) 2012.5 A5 24 350円
陝西省漢中市周辺の背架
―秦嶺及び米倉山の背架 織野 英史
道具と俗信 鍋と鍋蓋(2) 常光 徹
書籍紹介 『郷土玩具の新解釈―
無意識の「郷愁」はなぜ生まれた
か―』 加藤 幸治

◆大和市史研究
大和市役所文化スポーツ部文化振興課 市
史・文化財担当
〒242-0001神奈川県大和市中鶴間1-1-1
TEL046-260-5336 1975年創刊
◇37 2012.3 A5 120p
口絵 厚木航空隊正門の東側付近

に設けられていた厚木神社
近世後期、旗本知行所における文
書管理認識の変容―相模国高座
郡下鶴間村を事例として 澤村 怜薫
地域資料紹介
戸塚宿助郷村ゆかりの資料 谷合 薫
聞き書き 三〇二空の搭乗員の証
言―彗星とともに過ごした青年
時代 山本良一／高桑保／樋口雄一
資料編 「航跡」(1)

中 部

◆郷土史 燕
燕市教育委員会・燕郷土史研究会連合会
〒959-1295新潟県燕市白山町2-7-27
TEL0256-63-4131 2008年創刊
◇5 2012.3 A5 202p
『郷土史燕 第5号』発刊に寄せて
石黒 克裕
地名と郷土史
米納津の虚空蔵様について 幸田 昭
良寛詩歌を読む 塚本 智弘
延享元年 清伝寺本堂建立とその
歴史的意義 亀井 功
宝暦七年 横田切れの考察―くど
きに謡われた一夏に四度の大洪
水 亀井 功
「松長村道路元標」のこと 北澤 昭松
遺跡から見える古代の吉田 本間 敏則
史料紹介
燕洋食器工業組合発行「燕洋食
器の葉」 小林佐武郎
桃林齋 雲高山蘭若奉納和歌百
首之写 松澤佐五重
国上の雑録(1) 渋谷 啓阿
熊森村弘化二年「村用日記」を見
る 塚本 智弘
史料紹介

取材ノートから 熊木家蔵「安
政二年 道中付」 松澤佐五重
文化六年 地藏堂組田畑御案内
帳(4) 西海土寿郎
「慰霊友好二十周年記念洋上慰霊」
紀行 小澤 悦郎
吉田郷土史研究会研修
潟東周辺の歴史散歩 宇佐美徳三

◆郷土新潟 新潟郷土史研究会
〒950-2021新潟市西区小針藤山15-15
伊藤善允方 TEL025-266-3076
年4000円 1963年創刊

◇52 2012.3 A5 104p
表紙「農事図」(宮崎安貞『農業
全書』より) (「新田家文書」新
田彬氏所蔵)
新潟郷土史研究会設立五十周年に
寄せて 伊藤 善允
記念講演・東日本大震災において
新潟港の果たした役割 篠田 昭
「新潟郷土史研究会」草創期への
思い 中村 義隆
森谷先生と綱干さん 井上 慶隆
唐津正夫氏にさく一新潟郷土史研
究会と私
廻船資料にみる新潟町の廻船問屋
一高橋次郎左衛門・鈴木弥五左
衛門家・小松屋喜兵衛家の事例
菅瀬 亮司
贈物からみた新潟奉行と近隣領主
たちとの関係 中野 三義
明治14年「高知新聞」に載せられ
た新潟のすがたと人々 石橋 正夫
書籍紹介 中村義隆著『割地慣行
と他所稼ぎ一越後蒲原の村落社
会史』 山上 卓夫
会の活動

平成23年度春の史跡探訪旅行 竹内 征司
平成23年度秋の新潟下町巡りと
古文書講座
平成23年の歩み／動向・お知ら
せ／受贈図書紹介

◆長岡あーかいぶす

長岡市立中央図書館文書資料室
〒940-0065新潟県長岡市坂之上町3-1-20
長岡市立互尊文庫2階 TEL0258-36-7832
2005年創刊
www.lib.city.nagaoka.niigata.jp/monjo/

◇12 2012.3 A4 4p
歴史公文書は語る(5)
長岡教育放送局の台本 桜井奈穂子
文書の虫 江戸・明治時代の人び
とと花火 小林 良子
史料保存こぼれバナシ(4) 石井 順子
災害アーカイブス資料整理 in き
おくみらい 田中 祐子
長岡の碩学(12)
阿部信成(1802.4.1～1860.6.5) 田中 洋史
『山本五十六の書簡』を再版しま
した！
古文書クイズ(12)一ちょっと一息
／新たに公開した所蔵資料一覧
／川口地域の歴史公文書を整理

◆微笑仏 新潟県木喰会

〒949-5332新潟県長岡市小国町上岩田
524-1 高橋実方 TEL0258-95-2340
1993年創刊

◇18・19 2012.3 A5 80p 1300円
木喰旅立ちの頃『万人講』『納経
帳』を巡って 小島 悌次
木喰関連書館・雑誌の紹介 辻村 智弘
木喰の和歌 赤井 達郎
「越後タイムス」に載った西光寺

「木喰仏」 遠藤 正光
小千谷市四ツ子大日如来石仏 広井 忠男
阿蔵田観音堂守護記 政金 富司
木喰上人生地山梨県身延町を訪ね
て 高橋 実
2011年の贈り物一微笑佛 中前美智子
木喰仏油彩画シリーズ(10) 石井 清嗣
活動掲載記事抜粋 石井 清嗣
20号原稿募集のお知らせ／事務局
便り／長岡・小千谷木喰展新聞
記事／ミニ木喰仏販売のお知らせ
せ／全国木喰研究会会員名簿

◆良寛だより 全国良寛会会報

〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文
化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262
1978年創刊

◇136 2012.4 A4 20p
良寛遺墨解説(94)「十大願」 加藤 惇一
良寛尊像つれづれ(98)
新潟市内の良寛尊像あれこれ 涌井 茂
折々の良寛(25)
専門学校での良寛講座の経験 長谷川義明
平成24年度(第35回)全国良寛会岩
室大会「予告」／平成24年度
第35回全国良寛会岩室大会 参
加登録・総会・交流会・宿泊及
び見学会のご案内
岩室大会 関係のことば 土田 正栄
全国良寛会総会 記念講演 良寛
と漱石・鷗外、そして私の良寛
平山 征夫
第35回全国良寛会総会 歓迎アト
ラクシオン 詩吟・合唱
岩室温泉の新たな観光拠点「いわ
むろや」ご紹介 小倉 壮平
「ふるまち 良寛でまり庵」オープ
ン “今なぜ 良寛さん” (宮迫)

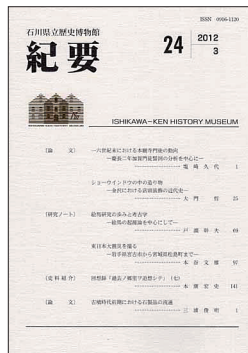
良寛の楷書は、中国楷書の基準を
超えている(2)―その美は、「1/
f ゆらぎ」から生まれている 長谷川洋三
良寛 丈夫賛歌 素描(2)完 吉田 福恵
国上山「五合山」の屋根の改修な
る
大阪の良寛 二題
良寛の書に感動！ 加藤 惇一
トピックス／新刊紹介『冬椿集』、
『ひとりて生きる道―「大愚」良
寛の生涯に学ぶ』、『越後新木と
総社新木―良寛さまとの出会
い』、『DVD第三作 良寛の足
跡と日本海の夕日』、『慈一小島
久路作品集』、歌集『風わたり
きて』／会報・会誌の紹介

◆高岡市万葉歴史館紀要

〒933-0116富山県高岡市伏木一宮1-11-11
(助)高岡市民文化振興事業団
TEL0766-44-5511 1991年創刊
www.city.takaoka.toyama.jp/manreki/
◇22 2012.3 A5 76p
古代和歌における懸詞の方法一音
形式に隣接する意味のあり方を
めぐって 白井伊津子
家持作品と日記的編纂の問題一心
の外面性の発見をめぐる考察 西澤 一光
「たくましげ二上山」の誕生
一越中萬葉歌の表現・少考 新谷 秀夫
そがひ追考 垣見 修司
研究ノート 大伴家持越中守時代
の中央議政官 関 隆司
勝興寺蔵・田中大秀「遊覧越中旧
国府大伴家持卿古蹟述懐辞」
(下)一訓読・語釈(校異)・現代
語訳 田中夏陽子

◆石川県立歴史博物館紀要

〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
TEL076-262-3236 1988年創刊
www.prefishikawa.jp/muse/rekihaku/
◇24 2012.3 B5 162+35p
16世紀末における本願寺門徒の動
向―慶長2年加賀門徒誓詞の分
析を中心に 塩崎 久代
ショーウィンドウの中の造り物―
金沢における店頭装飾の近代史
大門 哲
絵馬研究の歩みと考古学
―絵馬の起源論を中心にして 戸潤 幹夫
東日本大震災を撮る―岩手県宮古
市から宮城県松島町まで 本谷 文雄
史料紹介 回想録「過去ノ郷里ヲ
追想シテ」(7) 本康 宏史
古墳時代前期における石製品の流
通 三浦 俊明



* 本谷文雄「東日本大震災を撮る―岩手県宮古市から宮城県松島町まで」は、2011年4月、9月～11月の間の述べ16日間に撮影した5千点余の中から189点を掲載したものである。
同氏は4月初め、職場仲間などから集まった物資を宮城県の被災地に届け救援活動を行った。その際に、気仙沼市の知人から、写真で津波の怖さを多くの人に伝えて欲しいと託

され、石川県に戻って小学校などで報告する機会を持った。その後、再度現地に入り、成果を『写真集 三陸紀行―未来に伝える東日本大震災の記録』として自費出版した。ここには写真集から漏れた中から特に記録性の高いものを選んで収録。写真の他、各地の津波の高さ―浸水高と遡上高、津波が合流する現象＝水合(みずあい)などについて短いコメント、最後に、三陸海岸から遠い石川県では津波は来ないと考える者が多いかもしれないが、天保4(1833)年には約7.2メートルの津波が輪島を襲い、48名が溺死したことを記し、防災に対する個人の意識に警告を発する。

◆石川れきはく 石川県立歴史博物館
〒920-0963金沢市出羽町3-1
TEL076-262-3236 1986年創刊
www.prefishikawa.lg.jp/muse/rekihaku/
◇103 2012.4 A4 6p
春季特別展「れきはく特選資料展
―収蔵庫からお宝登場―」
韓国展余話「姉妹館交流展・何が
一番困ったか」 本康 宏史
主な刊行物のご案内／催事日程
企画展「新春を祝う一辰年のお
正月―」終了、企画展「れきは
くコレクション2011」終了、「常
設展示ワンポイント」&「れきは
くゼミナール」
れきはくトリヴィア 軍都金沢の
面影―歴史博物館石引分室

◆加南地方史研究 加南地方史研究会
〒923-0903石川県小松市丸の内公園町
小松市立博物館内 TEL0761-22-0714
1955年創刊
◇59 2012.3 B5 79p
東山町有文書資料の歴史的価値―

旧勘定村と本江村との水利慣行
史料から 山前 圭佑
北浅井邑の菩提所の記録 浅田 三郎
小松の商工業変遷三百年 大西 勉
曹洞宗太原山聖興寺之事 岡田 孝
小松周辺の歴史地震記録について
(藩政期以前) 小屋開地稔
顕彰碑・紀行碑を訪ねて 竹下 一郎
小松梅林吟社十年の歩み 能登外茂次
郷土の開拓 福田 義光
開拓移民の足跡を追って(2)―加
賀の走り移民(川先生に導かれ
て) 池端 大二
百姓の持ちたる国の講及び道場等
を引継ぐ郡中御影の自治の精神
小枝 俊弘
南加賀地区における新式郵便制度
多智 守
神話物語から学ぶ(神話を物語る
古事記より) 山本 恭子
史料紹介 加賀往来 正和 久佳
報告 三重県桑名市を訪ねた青空
教室―実業家諸戸清六旧邸宅・
六華苑、七里の渡跡、輪中の郷、
高田派本山寺修寺 橋本 正準
活動報告／受贈図書

◆加能民俗 加能民俗の会
〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236
年4000円 1950年創刊
◇155 (12-13) 2012.3 A5 17p
伊藤常次郎氏について―顕彰碑除
幕式(平成19年5月5日)における
講話内容概要 天野 武
加賀能登の雨乞い―ジャーナリズ
ムと民俗(5) 大門 哲
私の民俗ノートより(4) 前田佐智子

寄贈図書紹介(平成23年)／会務報
告
◆加能民俗研究 加能民俗の会
〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236
年4000円 1972年創刊
◇43 2012.3 A5 70p
浄土宗心蓮社(金沢市)の眼明如来
縁起をめぐる―幸若舞曲「満
仲」とその周辺 藤島 秀隆
白山直下より金沢へ搬出した桧乗
物棒―奥山人の複合生業の一端
橘 禮吉
松任市相川新の若者組 天野 武
書評 牛嶋英俊著『飴と飴売りの
文化史』 前田佐智子

◆飯島陣屋だより
飯島町歴史民俗資料館
〒399-3702長野県上伊那郡飯島町飯島
2309-1 TEL0265-86-4212 1993年創刊
◇15 2012.3 A4 4p
オモシロイ! 飯島陣屋の催し 飯
島陣屋の定例行事 紙の大きさ
はなんと縦4m、横6m30cm/「タ
イムトラベルクラブ」で歴史体
験!
飯島町域の戦国時代(1550～890
年ごろ) 想像図/城館跡ガイ
ド 原図: 伊藤修氏
出来事あれこれ 飯島町の文化
江戸～明治/第20回文化財めぐ
り/新修いいなかり山博覧会イ
ーラ
教員、PTAのみなさん、陣屋で
こんなことができます!

◆飯田市美術博物館研究紀要

〒395-0034長野県飯田市追手町2-655

TEL0265-22-8118 1990年創刊

www.iida-museum.org

◇22 2012.3 A4 180p

伊那谷にのこる釈迦三尊十六善神

図一瑠璃寺本・元善光寺本・玉川寺本の紹介 織田 顕行

「宗徧流華道書」一信州飯田・市岡

家に残る花道書 西脇 藍

菱田春草先祖の才能と堀飯田藩仕

官の歴史的背景 鈴川 博

建造物および山車にみる風神雷神

の彫刻について 水野 耕嗣

安積良斎撰文「観耕亭記」解題並

びに訳注 安藤 智重

地名からみた南信州の経塚の実態

岡田 正彦

橋山窯跡出土資料について 山下 誠一

◆飯田市歴史ニュース 飯田市歴史研究所

〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145

TEL0265-53-4670 www.city.iida.lg.jp

◇57 2012.4 A4 4p

飯田市歴史研究所の平成24年度事

業概要

新刊案内 飯田・下伊那史料叢書

3 建築物編2 農村舞台／「胡

桃澤盛日記」第2巻／2011年度

飯田歴史研究賞受賞 奨励賞「炎は

躍る」 原満征さん／平成23年

度歴史研究助成報告会が開催さ

れました／飯田アカデミア第65

講座のご案内／定例研究会／歴

研の出前講座

『飯田・上飯田の歴史』(仮題)刊行

事業より 下巻 近代～現代

「昭和の大合併」をめぐる社会経

済史

坂口 正彦

歴史ゼミナール／歴史研究所の催

事スケジュール／歴史研日誌

◆伊那 伊那史学会

〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048

TEL0265-22-6017 年5500円

◇1007 (60-4) 2012.4 A5 50p 500円

《考古学特集》

口絵 石行遺跡のアワ・キビ圧痕

山下 誠一

北原遺跡の台付甕へのこだわり 神村 透

弥生時代、南信州の木を切る道具

一大型蛤刃斧を中心とした弥生

石斧の生産と流通

下伊那教育会考古学委員会

飯田・伊豆木の古墳 桐原 健

甲冑から見た伊那谷の古墳時代 片山 祐介

回想のあの時とその後(1)

座光寺金井原窯址のこと 宮澤 恒之

飯田市鬼釜遺跡・鬼釜古墳の発掘

調査概報 河西 克造

平成23年度 下伊那考古学年報 岡田 正彦

◇1008 (60-5) 2012.5 A5 50p 500円

口絵 世界的な人類学・考古学者

鳥居龍蔵の市村威人宛書簡 今牧 久

江戸時代飯田町の大火

一見舞い・お救いを中心に 伊坪 達郎

国学門人の明治(2) 農村指導者

の姿 山本西平金澤猪之彌と積

善社を中心に 竹村 雄次

百年前、天龍川を下った英国の貴

公子 英国皇甥、コンノート殿

下の下航記録(上) 鎌倉 貞男

飯田藩主堀氏分知堀家の系譜考 堀 親郎

◆伊那路 上伊那郷土研究会

〒396-0021長野県伊那市小沢7799-2

TEL0265-78-6719 年5000円

◇663 (56-4) 2012.4 A5 40p 500円

忘れ得ぬ故郷 中川村銭集落と

「三六災害」(1) 有賀 直雄

伊那市美簗下県の地域性を考える

春日 藤彦

伊那の犬房丸とそれを伝えた人々

(2) 唐木 聡

伊那谷のノスリ

一民俗の窓を通して(16) 吉田 保晴

書の流れと書家として崇められた

人々 矢澤 喬治

短歌 いろはにほへど(4) 野溝 直人

農家の一年 寛政12年「歳内日記

覚」を読む(5) 三浦 孝美

上伊那の蝶(8)

ウラナミアアカシジミ 中村 寛志

文化短信 火山峠 吉田 保晴

古文書の窓(105)

樽木割納再仰付願 酒井 巖

師匠の背中(2)より(42) 入学 若林 徹男

◇664 (56-5) 2012.5 A5 40p 500円

宮田村新在家に再度かかわって 墨矢 勇夫

伊那の犬房丸とそれを伝えた人々

(3) 唐木 聡

武田家最後の高遠城主 仁科五郎

の謎(2) 福澤 文雄

元本会副会長小林一行先生を偲ぶ

小林一行先生との思い出 池上 正直

仲仙寺の絵馬調査と小林先生 伊藤 一夫

山と自然をこよなく愛した一行

先生 清水 満

小林先生を偲んで 宮澤 敬雄

小林一行先生を悼む 小林修一郎

小林一行氏との接点は森林鉄道

塔乗記 北原 昌弘

喜寿という思い出の旅 重盛 辰雄

父の思い出とお支えいただいた

方々への感謝

小林 智

著作目録

『伊那路』寄稿目録

上伊那の蝶(9) コツバメ 中村 寛志

文化短信 昭和初期の小情報紙

「梅乃屋廣報」 伊藤 一夫

考古あれこれ(16) 伊那市「一夜

の城」発掘調査について 濱 慎一

師匠の背中(2)より(43)

昔も節電? 若林 徹男

◆上田盆地 上田民俗研究会

〒386-0014長野県上田市材木町1-2-47

上田市立図書館内 TEL0268-22-5999

1959年創刊

◇41 2012.3 A5 45p

幕末上田城下町取究にみる冠婚葬

祭 尾崎 行也

明治期の不幸法事諸控帳をよむ 佐々木清司

葬礼の食 益子 輝之

位牌分けについて 酒井 佐

民俗談話会「お葬式を語る」のま

とめ 丸田ハツ子／宮澤かほる

◆史学 義仲 木曾義仲史学会

〒390-1401長野県松本市波田5904-5

千村清文方 TEL0263-92-6815

年3500円 1999年創刊 shigakukai.hyu.jp

◇13 2012.3 A5 119p

特集 全国版山吹御前の伝承スプ

ット(2)

平安時代の政局について 今井 弘幸

木曾義仲と埴生の八幡宮 埴生 雅章

だんじり彫刻の義仲と巴 角山 武司

忠岡の今井伝説 角山 武司

解説 「殿下乗合」と「鹿ヶ谷」

事件は『平家物語』の捏造(創

作)か 高坪 守男

足利庄(藤原・源姓)・新田庄・八幡庄について 井上 正明
木曾義仲愚者説への反論 今井 弘幸
栗津ヶ原での義仲最後の戦い 西川 早苗

◆信濃 信濃史学会

〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
TEL0263-36-1785 年8400円
www.shinano-shigakukai.jp
◇747 (64-4) 2012.4 A5 86p 900円
《考古学特集号》
失われた流れ 消えた郷
一松本市出川遺跡の消長 直井 雅尚
鳥浜貝塚出土押型文土器の検討 熊谷 博志
中世墓からみる石造物の造立意義 山田 梨恵

研究ノート 善光寺平の木質遺物の樹種に関する一考察 宮島 義和
報告 信濃史学会第96回セミナー
一近世の経済交流・文化交流 小野 和英
◇748 (64-5) 2012.5 A5 80 900円
北信濃に残る福澤諭吉関連史料をめぐって 青木 隆幸
「広瀬古墳群」(群馬県)の存立基盤 関口 功一

信濃の県・県主私考 桐原 健
「市河文書」に見る小土豪 仁科 叔子
書誌紹介 今井昭彦著『近代日本と戦死者祭祀』 山崎 哲人

◆長野 長野郷土史研究会

〒380-0905長野市七瀬南部14-7
TEL026-224-2673 年4000円 1964年創刊
www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
◇282 2012.4 A5 48p 500円
口絵 南禅寺創建開山・南院国師顕彰碑の建立

長野市の絵馬について 細井雄次郎
現代語訳「横田川原いくさの事」(下)『源平盛衰記』巻二十七 卷より 小林 一郎
生産者と消費者の思いが重なり合って発展する飯田・下伊那の和菓子生産 黒岩 正章
長野から岩手県遠野の震災ボランティア活動に参加して(下) 井原羽八夏
南院国師七百年大遠忌に寄せて 大明国師と南院国師 小林 一郎
南禅寺と朝陽 高原 英男
南禅寺参拝と大豆の思い出 宮沢 一恵
信州名所かるた 北村 俊治
修復保全工事が終わった かるかや山西光寺の刈萱塚 小林 玲子
実は「蔵の町」長野 小林 尚子

◆長野県民俗の会会報

〒399-7104長野県安曇野市明科七貴6535-5
巻山圭一方 TEL0263-62-6535
年5000円 1978年創刊
www.k2dion.ne.jp/~folklore/
◇33 2012.3 A5 86p

木曾御嶽講の展開一長野市と関東地方の事例から 牧野 真一
長野県の「風除け」習俗 一民俗地図を資料として 倉石 忠彦
生命観の変化に関する覚書一「循環的生命観」から「直進的生命観」へ 松崎 憲三
木曾開田高原における戦後の女性の短歌に見る厳しい農業と詩人 尾崎喜八の開田高原の詩の風景

梶 英雄
女鳥羽山の石造物調査 木下 守

◆郷土研究岐阜 岐阜県郷土資料研究協議会

〒500-8368岐阜市宇佐4-2-1
岐阜県図書館内 TEL058-275-5111
年2800円 1973年創刊
www.library.pref.gifu.jp/dantai/kyosilen/k_index.htm
◇117 2012.3 B5 28p
笠郷・池辺地域の水害を防いだ五三排水機 高橋伊佐夫
平成23年度総会時講演会 岐阜の祭礼芸能一民俗芸能の地域性の探究 丸山幸太郎
戦後引揚者集団と住宅開発 一岐阜駅前ハルピン街再考 根岸 秀行
生誕100年 養老鉄道の変遷とその存続(中) 松田 千晴
下呂町(現下呂市の一部)の地名由来 土屋 一
書窓の風

西濃 平成「大垣市史」考古編について 横幕 孜
美濃 高鷲開拓資料展示室が開設される 馬淵 旻修
飛騨 襖の下張り文書 福井 重治
郷土関係新刊書目録(103)
郷土関係逐次刊行物文献目録(102)

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会

民俗文化研究所
〒438-0086静岡県磐田市見付3532
TEL0538-32-3546 2007年創刊
www4.tokai.or.jp/child-cj/
◇59 2012.4 A4 4p
清涼寺の大松明と念仏狂言 吉川 祐子
◇60 2012.5 A4 4p
京都のやすらい踊 意欲満々の少年たち 吉川 祐子

◆静岡県近代史研究会会報

〒432-8011浜松市中区城北3-5-1 静岡大学情報学部 荒川章二研究室内 年4000円
◇403 2012.4 B5 4p 200円
4月例会レジュメ 『藤枝市史』を執筆しての感想一補足を中心に 村瀬 隆彦
第8回しずおか町並みゼミ in 中野町 小池 善之
受贈誌の紹介
◇404 2012.4 B5 4p 200円
5月例会レジュメ
戦後／差別の諸相 黒川みどり
書籍紹介 黒川みどり『近代部落史一明治から現代まで一』 鈴木 雅子
受贈誌の紹介 『道歴研年報』第11号(北海道歴史研究者協議会) (加藤)
史料調査報告 掛川市中 熊切顯
夫家文書 緊急概要調査 岡村 龍男
紹介 N I E 川上 努

◆静岡県民俗学会会報

〒424-0053静岡市清水区渋川1-9-6-101
松田香代子方
homepage3.nifty.com/s-folklore/
◇143 2012.4 A4 4p
平成24年度総会・大会案内 中山 正典氏研究発表要旨／荻野裕子氏研究発表要旨
伊豆屋伝八文化振興財団「文化財保護振興奨励賞」受賞報告
秋田市の寺院に伝わる貉の書 大嶋 善孝
シリーズ食(20) 玄米と精白米(1) 外立ますみ
静岡の民俗語彙・方言短信 ジーヨロコビノバーナカセ 多々良典秀
ヌスツパン 多々良典秀
博物館情報／受贈資料・刊行物紹

介

◆**基層文化** 基層文化研究会
〒465-0017名古屋市長東区つつじが丘201-26-207 小田雄三方 TEL052-771-3886
年3000円 2010年創刊

◇2 2012.3 B5 20p
ヨーロッパの「基層文化」の考え
方 原 聖
日本の廻遊職能民「サンカ」・小
考―〈サンカ学〉の誕生 飯尾 恭之
資料(1) 対談 姫田忠義 vs 川
田純造「舟が教える深く広い世
界」第2回
書評 「山人(やまど)の話」(2010
はる書房)

◆**郷土研究誌**かりや
刈谷市郷土文化研究会
〒448-0852愛知県刈谷市住吉町4-1
刈谷市中央図書館内 TEL0566-25-6000
1980年創刊

◇33 2012.3 A5 137p
文化講演会 わが歌の恩人達(1)
鈴木定雄 鈴木 竹志
縄文時代のどんぐり食を考える 清水 正明
史料紹介
野村伴右衛門源直温について
矢田富治／稲垣恒夫／佐久間美佐子
「刈谷町の米騒動」を考える 岡本 建国
秋葉祭礼の万灯奉納 平井 芳男
岡千仞・鹿門家伝来の松本奎堂の
書―仙台から里帰りした松本奎
堂遺墨 高野 基弘
岩倉具視関係文書にみる伊藤謙吉
竹中 兼利
方巖亮茶年譜(稿) 永田 友市
愛知県議会議員 内藤魯一 山田 孝

刈谷に豊田なかりせば(前) 渡邊 健二
昭和25年4月1日刈谷市誕生 河野 和夫
依佐美送信所保存運動の歩み 加藤 修
森三郎と「一二三会の歌」 鈴木 哲
「森三郎生誕百年」行事を終えて 西村 清
覚え書 刈谷市における弘法伝説
について 原田 光敏
市内研修会 専光寺を訪ねて 小塚 修三
県内研修会 幸田町の歴史と自然
を学ぶ―本光寺・正楽寺と深溝
断層 長畠 秀雄
前会長・鈴木定雄さんを悼む 岡本 建国
追悼 名誉会員・小嶋巖さんの思
い出 水野日出夫
平成23年度 刈谷市郷土文化研究
会の歩み・平成24年度予定

◆**新城市設楽原歴史資料館・新城市長篠城址
史跡保存館研究紀要**
新城市設楽原歴史資料館
〒441-1305愛知県新城市竹広字信玄原552
新城市長篠城址史跡保存館
〒441-11634愛知県新城市長篠字市場22-1

◇16 2012.3 A5 94p
長篠・設楽原鉄砲隊結成20周年記
念講演 鉄砲を語る徹底対談―
設楽原と火縄銃
小和田哲男／宇田川武久／小林芳春
「設楽神の丞清忠より勝楽寺虎山
和尚あて書簡」について 夏目 利美
古戦場から出土した火縄銃の玉(2)
その後の出土と鉛の原産地 小林 芳春
群馬県富岡市宇田「林家文書」―
心庵宗祥禅師と林橋作をめぐつ
て 山内 祥二
菅沼新八郎宛上杉謙信書状に見る
菅沼家の動静 湯浅 大司
新城市設楽原歴史資料館年報

新城市長篠城址史跡保存館年報

◆**豊田市史研究**
〒471-0079愛知県豊田市陣中町1-19-1
豊田市教育委員会文化財課市史編さん室
TEL0565-36-0570 2010年創刊

◇3 2012.3 A4 178p
口絵 隣松寺本堂
1500年前後の松平一族―岩津一門
・大草一門・大給一門 村岡 幹生
豊田市における河川水温・河川流
量の地理的分布
谷口智雄／宮岡邦任／溝口晃之
気圧の谷の通過に伴う豊田市域の
降雪分布について
神谷俊彦／大和田道雄／恩田佳代子
冬季における豊田市のヒートアン
ランド分布の総観気候学的研究
大和田道雄／恩田佳代子／神谷俊彦
研究ノート
郡長田中正幅論 羽賀 祥二
足助重範贈位考 石川 寛
「家」の子どもたちはどう生き
たか―戦前期上郷村F家 吉川 卓治
衰退および消滅する地場産業 水野 雅夫
資料紹介 愛知県豊田市に生息す
る陸棲軟体動物 川瀬 基弘
調査報告 挙母盆地の条里制遺構
北村 和宏
新修豊田市史編さん活動記録／新
修豊田市史編さん関係者名簿

◆**蓬 左** 名古屋市蓬左文庫
〒461-0023名古屋市長東区徳川町1001
TEL052-935-2173 1980年創刊
housa.city.nagoya.jp

◇84 2012.3 A4 8p
平成24年4月14日～5月27日 展示

室1・2 寄贈40周年・徳川園
80周年記念 春季特別展 江戸
の粋―尾崎久弥コレクション
次回展示 平成24年7月25日～9月
30日 展示室1・2 戦国の合
戦
平成24年6月2日～7月22日 展示
室1・2 徳川園80周年特別企
画「尾張徳川家大曾根邸と徳川
園」
閲覧室だより「レファレンスの窓」
四つの長栄寺 種田 祐司
元禄赤穂事件と尾張藩 松村 冬樹
表紙 近世怪談星夜霜

◆**民俗と風俗** 日本風俗史学会中部支部
〒465-0064名古屋市長東区大針1-204
衣の民俗館 TEL052-701-7568 年5000円
〒465-0077名古屋市長東区植園町3-27-1
高橋義雄 TEL052-783-0791

◇22 2012.3 B5 130p
口絵写真 高橋春子先生
謹んで申し上げます 永井 義雄
予告 永井(高橋)義雄
短歌 夕映え 斉藤 芳子
短歌 和にかこまれて 田中きぬゑ
短歌 笑顔賜ひし 小西八千代
縄文中期農耕の提言
一三内丸山ムラのクリ林 横井 國人
牛頭天王の類を取り除くべし
一明治維新と廃仏毀釈 光田 憲雄
名古屋城石垣刻紋考四 補遺 窪 佳世
京都花街衣裳に見る年齢表現
一半襟を中心に 吉田 扇
東海地方のドジョウのすし 日比野光敏
手作り日本人形を用いた幼児の遊
びを通してみる模倣行動―2保
育所での観察記録を事例として

浅井恭子／中嶋範／駒井美智子
 女子大生の著の扱いに関する一考
 察 土屋 京子
 欧米文化圏能楽初心者向け狂言教
 材の研究―「蟹山伏」を中心に
 ウィリアム・ペトルシ
 ャック／飯塚恵理人
 書評 『徳川後期の学問と政治―
 昌平坂学問所儒者と幕末外交変
 容』 眞壁仁著、『東海こだわり
 の蕎麦処』大川博徳著、『父・
 西條八十の横顔』西條八束著、
 『最後の万歳師 尾張万歳家元
 五代目長福太夫』日川弘平著、
 『我、狂言たれ 又三郎家の楽
 屋裏でござる』野村又三郎著、
 『東海の円空を歩く』長谷川公
 茂著、『市政と向き合う』早川
 鉦二・早川トモエ著
 随想 権力・宗教・差別
 ◆皇學館史学 皇學館大学史学会
 〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
 皇學館大学文学部国史学科研究室
 TEL0596-22-6456 1986年創刊
 kokushi.kogakkan-u.ac.jp
 ◇27 2012.3 A5 88p
 「広嗣の乱」に関する一考察―「時
 政之得失」の解釈について提唱
 大友 裕二
 熱田大宮司星野氏の研究 星野 加奈
 本居宣長の「遺言書」と臨終前後
 ―その思想的意義について 平野 広大
 史料紹介 皇學館大学所蔵「安楽
 寿院壁書」 岡野 友彦
 ◆三重の古文化 三重郷土会
 〒514-0006三重県津市広明町252

茅原弘方 TEL059-228-0783 年3000円
 ◇67 2012.3 A5 158p
 坂東の平氏が、なぜ伊勢国へ来た
 のか 加山 久富
 蓮浄寺木造釈迦如来坐像について
 ―近世初期在銘彫刻の一例 藤田 直信
 鈴屋一門の考古記録 小玉 道明
 聞中禪師に就いて
 ―その遺品と年譜(稿) 衣斐 弘行
 資料紹介 天明の郷土の俳人 三
 浦禰良について 湊 章治
 川口村庄屋文書にみる大塩騒動御
 通し 浅生 悦生
 野村訥斎のことども 中世古祥道
 小林新田の開発の素描
 ―「萬仕入控帳」の分析から 藤谷 彰
 伊勢暴動と小瀬暴動の数え唄 八木 淳夫
 新オオカミ伝説
 ―三重県での出現記録 萩原 正夫
 大和国史会(近畿文化会)と私の少
 年時代―続々々 考古少年のノ
 ートから 岩野 見司
 伊東富太郎の足跡(4)
 ―多度大社 石神 教親
 鈴鹿海軍航空隊格納庫の保存運動
 の「敗北」と今後 岩脇 彰
 『はくさんの石造物』調査につい
 て 山路 裕樹
 鳥羽市相差町の獅子頭再興と現状
 村上 喜雄
 2011年、三重の文芸事情 藤田 明
 史料復刻 鈴鹿市「中尾家文書」
 (3) 三重郷土会古文書勉強会
 新聞記事から 浅生 悦生
 事務局日誌 茅原 弘

近 畿

◆湖国と文化 (財)滋賀県文化振興事業団

〒520-0044滋賀県大津市京町3-4-22
 TEL077-522-8369 年2520円 1977年創刊
 www.shiga-bunshin.or.jp
 ◇139 (36-2) 2012.4 B5 92p 600円
 《特集 近江八景》
 近江八景
 和の情景の総合パッケージ 横谷賢一郎
 作品でたどる近江八景の300年
 17世紀から20世紀まで
 観光から見た近江八景
 大津観光の原点 近江八景 田中 眞一
 和菓子と近江八景 200年の味を
 守る老舗「藤屋内匠」の落雁
 急がば回れ瀬田の長橋
 成安造形大学附属近江学研究所
 琵琶湖八景を巡る 冬の夕陽をあ
 びるヨシ原の美 近江八幡市白
 王、円山地区の水郷 植田 耕司
 四季をめぐる健康食 春編
 おすしを囲んで楽しい食卓 武田 律子
 おうみ(近江)おうみ(多見)歩く
 (5) 小関越(こぜきごえ) 加藤 賢治
 現代滋賀ブランド(7) 近江の城
 跡 歴史の表舞台となった重要
 な証人 木戸 雅寿
 談話室(8) 干支登山 干支の山
 めぐり低山から千メートルまで
 近江に多い辰(竜・龍)の山 山本 武人
 インタビュー・湖と生きる(2)
 ピアニスト 井尻愛紗さん 植田 耕司
 いまどきの「元気なお寺」見聞(3)
 守山市幸津川町 東光寺 若い
 芸術家とお寺でハブン! 雅楽
 と声明、教えてとアートと地域
 が合体 辻村琴美／辻村耕司
 滋賀文化事情
 文化・経済フォーラム滋賀2年
 目に 第1回滋賀を元気に!

賞 大賞に余呉べんがら座
 文化ビジネス塾(仮)や近江屋
 研究など多彩に推進 編集室
 びわ湖検定 「検定塾」、依然健
 在 前回上回る1017人が受験
 編集室
 近江人物伝(11) 藤本太郎兵衛
 湖辺177か村が冠水被害 親子
 三代が幕府に瀬田の川ざらえ願
 い書 琵琶湖の治水に命をかけ
 る 木村 至宏
 カラーグラビア
 近江八景いまむかし 大久保勝利
 郷紀行 春 長井 泰彦
 近江植物記 江南 和幸
 三上山風便り 八田 正文
 おわび紙と書と言葉(2) 増田 洲明
 シリーズ「琵琶湖世界の地域デザ
 イン」(2) トラスト運動から
 「歴史的風致」再生へ 彦根芹
 橋 足軽辻番所を起点とした歴
 史まちづくり 山崎 一眞
 湖国藝術紀行(10) 伝統芸能の舞
 台・近江 湖国ゆかりの歌舞伎、
 文楽… 豊かな文化遺産をもっ
 と楽しもう 三好 吉彦
 湖国レディス・アイ(28) 大震災
 の岩手、シンガポールの商談会
 で滋賀を感じる 朝、夜に琵琶
 湖を眺め、力をもらう 三輪 千尋
 北から南から 鈴木強／寺田直子／源野孝
 彦／森友美子／奈良薫／清
 水貴子／安部愛子／編集室
 新連載 トチノキの里で考える
 (1) トチノキの開花 源流域
 で巨木林発見 地域の自然と生
 活見つめる生き証人 青木 繁
 歴史文書は語る 県政史料室から

(3) 公文書のなかの仙像 生嶋 輝美
あきとせつ(5)完 即興俳人
藤本恵子／中西文彦

◆民俗文化 滋賀民俗学会

〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
TEL0740-36-1414 年4800円 1963年創刊
sigaminzoku.fc2web.com
◇583 2012.4 B5 12p 400円
博物館への寄贈について 粕渕 宏昭
彦根市小野町の城山
一小野大膳と草山内膳 長谷川博美
湖北三十三観音巡拝(3)
一東物部・東高田・唐川 馬場杉右衛門
垣兵団のレイテ玉砕(6) 馬場杉右衛門
滋賀の石造文化財(中世)の概観に
ついて(22) 福澤 邦夫
僻地五級集落の記憶と現況
一滋賀県旧永源寺町茨川 浅原 昭生
賽銭箱について 粕渕 宏昭
金属の代用品について 粕渕 宏昭
地球は一つ お互いに心豊かに生
きよう 菅沼晃次郎
講師 旭堂南陵(二代目)の聞き
書き一代記(12) 菅沼晃次郎
◇584 2012.5 B5 12p 400円
人類は叡智をもって永遠の幸せを
一子々孫々のために自我を捨て
よう 菅沼晃次郎
阿曾津千軒と有漏神社考(前)
一旧伊香郡高月町 長谷川博美
湖北三十三観音巡拝(4)
一雨森・渡岸寺・落川 馬場杉右衛門
井伊大老と長野主膳(1)
一さらば肥後八代城 馬場杉右衛門
賽銭の集め方について 粕渕 宏昭
氷屋の旗について 粕渕 宏昭
糊白(のりうす)その他について 粕渕 宏昭

滋賀の石造文化財(中世)の概観に
ついて(23) 福澤 邦夫
講師 旭堂南陵(二代目)の聞き
書き一代記(13) 菅沼晃次郎

◆古代史の海 「古代史の海」の会

〒615-8194京都市西京区川島栗田町22
中村修方 FAX075-392-3743
年4000円 1995年創刊
www.k5.dion.ne.jp/~pan/kodaishinoumi/
◇67 2012.3 A5 104p 1500円
巻頭言 文献と考古学 半沢 英一
2011年・古代史総括 森岡 秀人
美濃のムゲツ氏とカモ氏と水の祭
祀 尾関 章
会員ひろば
雑感一大震災と卑弥呼 齊藤 隆一
アンデス通信(20) 市木 尚利
半沢英一著『天皇制以前の聖徳
太子』を読んで 北條 芳隆
由来の異なる二つの羽束郷 中村 修
発見から80年一直良信夫と「明石
原人」再考 下司 和男
『日本書紀』反主流編者の意図 田中 勝
小説 ホムタ・オシクマ戦争(3) 河野 宏文

◆史迹と美術 史迹美術同好会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
西大路町146 中西ビル内
FAX075-441-3159 年8000円 1930年創刊
◇824 (82-4) 2012.4 A5 34p 915円
口絵 日本の塔百選(4)／平成23
年8月例会 旧西尾家と吹田市の
建築文化
桓武天皇が見た平安京前夜の京都
盆地 久世 康博
風水研究(6)
青島先生『葬経』和訳(下) 寺本 健三

日本の塔百選(4)
大和霊山寺三重塔 中西 亨
第967回例会 平安宮遺跡の現況 丸山 貞
第968回例会 旧西尾家と吹田市の
建築文化 矢ヶ崎善太郎
◇825 (82-5) 2012.5 A5 34p 915円
口絵 徳川霊廟奉献燈籠の鋳物師、
渡辺銅意法橋正駿と鳥居権左正
信
徳川霊廟奉献燈籠の鋳物師、渡辺
銅意法橋正駿と鳥居権左正信 石塚 雄三
日本の塔百選(5) 清水寺泰産寺
三重塔(子安塔) 中西 亨
飛雲閣を探して(1) 本願寺「御
亭」と国宝「飛雲閣」(上) 加藤 繁生

◆都藝泥布 京都地名研究会通信

〒611-0031京都府宇治市広野町宮谷110-15
糸井通浩方 TEL0774-44-7636
年3000円 2002年創刊
www.geocities.jp/Kyotochimei/
◇40 2012.3 A4 8p
第33回「地名フォーラム」in 京都・
山城報告 講演 相楽の歴史と
地名を学んで(中津川敬明)／発
表1 巨椋池周辺の指月地名(岩
田貢)／発表2 京都の「朱雀」
地名について(清水弘)
京都地名研究会 2012年度総会・
講演会 総会／講演1 吉田金
彦「神尾寺謎の魚文」／講演2
角倉吾郎「角倉了以と京都」
京の地名俳句を観る(4)
洛東の巻 尾崎聖二郎
地名随想1 京都市西京区大原野の
樫本神社のこと 梅谷 繁樹
地名随想2 柏清盛町 山崎 泰正
地名随想3 地所表記のカタカナ

「上ル」か「上る」か問題めぐっ
て(1) 糸井 通浩

◆鉄砲史研究 日本鉄砲史学会

〒607-8345京都市山科区西野離宮町2-1
山科南団地E棟213 岡崎清方
TEL075-594-3145 年10000円 1968年創刊
◇372 2012.3 A4 70p
尾張藩の田付流千字文の鉄砲につ
いて 安田 修
豊後佐伯藩の大鉄砲
一津田流から伊勢の守流へ 宇田川武久
初期江戸幕府の西洋砲の導入 伊藤 秀憲
辺境の硝石造り一祭りと火薬 加藤 朗
千代田型艦と宇都宮三郎のポート
砲鋳造 北村 陽子
百人町 鉄砲百人組一昔と今 高橋 達郎
「戦艦陸奥」のVC甲鉄 戸高 一成

◆立命館平和研究

立命館大学国際平和ミュージアム紀要
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1
TEL075-465-8151 2000年創刊
www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/
◇13 2012.3 A4 63p
刊行にあたって 高杉 巴彦
巻頭論文 ミリタリーをどうする
かー憲法9条と自衛隊の非軍事
化 ヨハン・ガルトゥング／訳・藤田明史
福島原発事故の歴史的背景と3.11
後の平和研究の課題 安斎 育郎
学校で多文化共生教育協働プログ
ラムを実施することの意義ー協
働体制づくりを通じた教育成果
の考察 孫 美幸
戦争と平和を語り継ぐー立命館大
学国際平和ミュージアムのボラ
ンティアガイドの実践を事例に

福西 加代子
「ワークショップ・ミリタリーを
どうするかーガルトウング博士
とともに考えるー」参加報告記
(2011年9月16日実施) 野島 大輔
立命館大学国際平和ミュージアム
における資料整理の概要 兼清 順子
「プリーモ・レーヴィーアウシュ
ヴィッツを考えぬいた作家ー」
特別記念講演会報告 加國 尚志

◆立命館大学国際平和ミュージアムだより
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1 TEL
075-465-8151 1993年創刊
www.ritsumei.ac.jp/mng/er/wp-museum/
◇55 (19-3) 2012.3 A4 24p
スポット ミュージアムの所蔵品
(52) 慰問袋
巻頭つれづれ
月と舟と肉一心に期すこと 安斎 郁郎
館長だより 国際平和ミュージア
ム20周年の年にあたって 高杉 巴彦
ここが見どころ 歴史と責任 加國 尚志
運営委員リレー連載 資源・環境
をめぐる争奪戦ー武器なき戦争
小幡 範雄
ミュージアムおすすめの一冊 松
井やより著『女たちがつくるア
ジア』(岩波新書 1996年刊) 遠山 千佳
ミニ企画展開催報告 (2011年10月
～2012年1月)
事業報告 特別展 世界報道写真
展2011/2011年度 秋季特別展
プリーモ・レーヴィーアウシュ
ヴィッツを考えぬいた作家/文
字・活字文化の日「平和って
なに色?」/第58回不戦のつど
い わだつみ不戦の誓い展/

2011年長崎青少年ピースボラン
ティアとの平和交流事業/アル
セニエフ総合博物館との学術協
定の調印式・記念講演
第18回日本平和博物館会議に参加
して/2010年度資料・図書など
寄贈者一覧/第5回立命館附属
校平和教育実践展示/日本平和
博物館会議加盟館の紹介・第3
回 長崎原爆資料館
ボランティアガイド活動日誌 立
命館大学国際平和ミュージアム
ボランティアガイド・平和友の
会 (川畑康郎)

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報
〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円
◇292 2012.4 B5 14p
蟻通雑誌 神宮寺宗福院の建立 樋野 修司
ビルマ戦線回顧録(4) インパー
ル作戦船舶工兵の記録 長滝谷忠治
和泉の中世城郭(10) 井田 寿邦
◇293 2012.5 B5 14p
治承・寿永内乱の周縁と深層 堀内 和明
蟻通雑誌
神宮寺宗福院の建立(2) 樋野 修司
ビルマ戦線回顧録(5) インパー
ル作戦船舶工兵の記録 長滝谷忠治
和泉の中世城郭(11) 井田 寿邦

◆大阪歴史懇談会会報
〒536-0008大阪市城東区関目2-3-2 アンテ
ィークショップー兵内 TEL06-6931-1081
年5000円 1984年創刊
blog.goo.ne.jp/rekisitanbou/
◇332 (29-4) 2012.4 B5 12p
浪速今昔百景(14)

一心寺(お骨佛様) 川村 一彦
3月例会報告(第307回)「近松門左
衛門と私」ーあまがさきから近
松を発信する 田中實氏/古文
書講座(第131回)「災害の記録」
ー寛政四年「永代要用記」より
石川道子先生 井川 光正
見学会報告 日本古城友の会合同
見学会「大和、高安城趾、信貴
山城趾を訪ねて」 案内講師:
周藤匡範氏 久保 敏博
◇333 (29-5) 2012.5 B5 8p
浪速今昔百景(15) 長寶寺(閻魔
さんのゆかりの寺) 川村 一彦
4月例会報告(第308回)「明治維新
の光と影」ー赤報隊の栄光と挫
折 入野清氏/会員講座「古代
史上最大の渡来系豪族(秦氏)の
実像」 小林司氏 (真野)

◆大塩研究 大塩事件研究会
〒530-0053大阪市北区末広町1-7
成正寺内 TEL06-6361-6212 1976年創刊
◇66 2012.3 A5 75p
この言葉(28)
図版 大塩平八郎源義信 藪田 貫
大塩平八郎論を再考する 平川 新
特別展「城下町・大坂 武士たち
が見た風景」によせて 八木 美恵
中尾捨吉の碑文を読む 八木 淳夫
幻の曾祖父を訪ねて 遺言と言い
伝えの中の大塩平八郎 小西 利子
大塩平八郎の蝦夷探検家人脈 新
楽閑叟と小川家の縁についての
一考察 小西 克介
「大塩の乱関係史料を読む部会」の
近況 福島 孝夫
酒井一先生を偲ぶ 秦 達之

例会(鴻池新田)参加記 福 敬二
大塩焼けのその後
ー猫間川の移り変わり 井上 泰行
『大正大阪風土記』の大塩関連記事
久保 在久
会員の著書
森田康夫著『大塩思想の可能性』
洗心洞通信(54)

◆河童通心 和田寛
〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327
TEL072-251-2586 年2400円
◇339 2012.4 A5 12p 200円
水木しげるの『お笑いチーム』と
その時代 和田 寛
ポケモンの「ガマガル」は「河童」
に似ているか? 和田 寛
◇340 2012.5 A5 12p 200円
『長靴の三銃士』(牧野大誓[作]・
井元水明[画])とその時代 和田 寛

◆近畿文化 近畿文化会
〒543-0001大阪市天王寺区上本町6-5-13
上本町YUFURA 7 階
TEL06-6775-3686 年2200円
◇749 2012.4 A4 10p 300円
完成した継体天皇「いましろ大王
の杜」ー今、見直される継体天
皇の事跡 水野 正好
聖徳太子と飛鳥仏教の美術 松浦 正昭
◇750 2012.5 A4 8p 300円
石の女帝ー斉明天皇のメッセージ
猪熊 兼勝
行基の足跡を訪ねて(2)ー河内編
泉森 皎

◆近畿民俗通信
〒547-0031大阪市平野区平野南4-2-5

原泰根方 TEL06-6709-8533 2009年創刊
◇11 2012.3 A4 4p
同業街の祭り和社会一大阪・西横
堀の陶器祭をめぐって 伊藤 廣之

◆堺研究 堺市立中央図書館
〒590-0801堺市堺区大仙中町18-1
総務課図書館サービス係 TEL072-244-3833
◇33 2011.3 A5 88+37p
『堺市史』刊行80年記念特集
堺と中世都市
—『黄金の日々』遙か 仁木 宏
幕末維新期における宗門帳からみ
た堺のまちと職業渡世 福島 雅藏
絵図でみる堺港 吉田 豊
◇34 2012.3 A5 131p
堺市立中央図書館所蔵の引札から
(口絵)
阪堺間交通近代化と鉄道・軌道の
役割 宇田 正
明治期堺市中の小学校日誌を読む
(1)―「錦尋常小学校日誌抜萃」
から 和田 充弘
堺市立中央図書館所蔵古文書等整
理業務調査報告(ふるさと雇用
再生基金事業) (財元興寺文化財研究所

◆城だより 日本古城友の会
〒577-0044大阪市西成区玉出中2-11-28
平川大輔方
web1.kcn.jp/kojyo_tomonokai/
◇520 2012.4 B5 20p
近江 水口岡山城、水口城を探访
します(5月・第583回例会)のご
案内
6月・第584回例会の予告／セミナ
ー等のご案内／受贈図書・資料
／城郭ニュース／編集部より

3月・第581回例会の報告
近江(信楽)小川三城 川岡 治
会員通信
小川西の城(鳥瞰図)
陣屋と大名(承前) 陣屋大名の
家臣団とその例 播磨小野藩
上田 正和
高石垣に魅せられて 木下 修二
新聞記事紹介

◆つどい 豊中歴史同好会
〒560-0884大阪府豊中市岡町北2-8-11
山口久幸方 TEL06-6857-4959
homepage2.nifty.com/toyonakarekishi/
◇291 2012.4 B5 20p
考古学からみた四、五世紀のヤマ
ト政権と加耶諸国 田中 晋作
秦氏と宇佐八幡宮 金谷 健一
プレゼンテーションに関するアン
ケート集計結果
豊中歴史同好会ISOチーム

◇292 2012.5 B5 20p
四・五世紀のヤマト政権と近江
(上)―香坂王・忍熊王の反乱伝
承を手がかりとして 塚口 義信
笠井敏光氏の講演「河内湖周辺の
古墳」を聴いて 阪口 孝男

◆摂播歴史研究 摂播歴史研究会
〒676-0004兵庫県高砂市荒井町千鳥2-23-12
TEL079-442-0658 1986年創刊
◇57 2012.3 B5 10p
津の国、菟原の郡、アシヤの里
考 長谷川美保子
歌枕「田蓑の嶋」について 谷山 由夫

◆生活文化史 史料館だより
神戸深江生活文化史料館

〒658-0021神戸市東灘区深江本町3-5-7
TEL078-453-4980 1981年創刊
homepage2.nifty.com/fukae-museum/
◇40 2012.3 B5 20p
深江物語(2)
―昭和20年代の稲荷筋を歩く 森口 健一
展示品との対話(18)
大正三年の電話番号簿 藤川 祐作
深江の町を知る「関西あそ歩」実
施協力 深江 塾
「踊り松」あれこれ 杉浦 昭典
史料館におけるIT施策―webサ
イトの更改とOA環境の整備 高田 祐一
神戸深江生活文化史料館
創立30周年記念のつどい 道谷 卓
電子書籍「写真でたどるふるさと
深江」発刊
大国正美／水口千里／高田祐一
トライやる・ウィークと史料館―
本庄中学校の生徒を受け入れて
水口 千里
本庄小学校歴史写真展の開催 深江 塾
史料館日誌抄 道谷 卓

◆西宮文化協会会報
〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内 TEL0798-33-0321
◇529 2012.4 B5 8p
平成24年度総会開催 記念公開講
演会「ジャパングルと江戸・
上方文化」奥野卓司先生
神宮摂末社めぐり(4) 伊佐奈彌
宮／葭原神社／宇治山田神社／
大土御祖神社／宇治乃奴鬼神社
／國津御祖神社
回想記(9) 吉井 貞俊
JR櫻井線 奈良一大和高田(4) 吉井 貞俊
◇530 2012.5 B5 8p

5月行事 美術館見学「グェッリ
ーノ・トラモンティ展」西宮市
大谷記念美術館
文化協会会長就任にあたり 山下 忠男
平成24年度定例総会報告／平成23
年度西宮文化協会事業報告／平
成24年度事業計画
神宮摂末社めぐり(5) 葦立弓神社
／神宮摂末社 総図試巻 吉井 貞俊
JR櫻井線 奈良一大和高田(5) 吉井 貞俊

◆水平社博物館研究紀要
〒639-2244奈良県御所市柏原235-2
TEL0745-62-5588 1999年創刊
www1.mahoroba.ne.jp/~suihei/
◇14 2012.3 A5 52p 1000円
奈良県における運動史研究の蓄積
と課題―大和同志会創立100年、
奈良県水平社創立90年によせて
井岡 康時
高知県水平社の政治運動への進出
吉田 文茂

◆奈良学研究 奈良学会
〒631-8501奈良県奈良市帝塚山7-1-1
帝塚山大学奈良学総合文化研究所
TEL0742-48-8842 1997年創刊
◇14 2012.3 A5 80p
久保権大輔と『長閑堂記』の諸問
題 神津 朝夫
法隆寺の仏前供養具―中・近世の
遺品を中心に(3) 関根 俊一
藤原宮と尾張国勝川廃寺の同范軒
瓦について 安達 奈央
郡山藩領における松波勘十郎の増
徴仕法と百姓一揆―研究の軌跡
と基本史料の紹介 谷山 正道
史料紹介 帝塚山大学図書館蔵

『奈良大乘院家南院家資料』
について 田中 香織
公開講座記録

◆奈良県立同和問題関係史料センター
研究紀要
〒630-8133奈良市大安寺1-23-1
TEL0742-64-1488 1994年創刊

◇17 2012.3 A5 111p
戦間・戦時体制期奈良県の被差別
部落の状況について 井岡 康時
地域的霊場の成立と展開—高山新
八十八ヶ所をめぐる— 津浦 和久
続「三棟」考
—中世奈良の声聞師を考える— 山村 雅史
19世紀大和における真宗フォーク
ロアの生成—吉光尼伝承のゆく
え 奥本 武裕
特別寄稿 鹿の角切りと奈良の町
幡鎌 一弘

◆日本史の方法
奈良女子大学「日本史の方法」研究会
〒630-8506奈良県奈良市北魚屋西町
奈良女子大学文学部小路田研究室気付
TEL0742-20-3311 2005年創刊
◇9 2012.3 B5 64p
中世的来世観の形成について
—後生菩提をめぐる— 杉原 慶子
シンポジウム『古事記』
今尾文昭／大久保徹也
／館野和己／水林彪

◆日本文化史研究 日本文化史学会
〒631-8501奈良県奈良市帝塚山7-1-1
帝塚山大学奈良学総合文化研究所
TEL0742-48-8842 1977年創刊
◇43 2012.3 A5 94p

生駒宝山寺潭海の仏舎利信仰 赤田 光男
富士山村山大宝院秋山家の生活空
間—近代初期における山伏の居
屋敷の復元— 大高 康正
大和高田の本願寺における位牌祭
祀 高田 照世
藤原八束(真楯)の妻について 鷲森 浩幸
資料紹介 「仏具絵図」について 関根 俊一

◆帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要
〒631-0062奈良県奈良市帝塚山7-1-1
TEL0742-32-5708 2000年創刊
◇14 2012.3 B5 94+4p
マタギの秋田藩製薬と地域経済に
はたした役割 池端 夏実
女神像の服制・髪型について 池本 ゆい
三重県伊賀地方における雨乞儀礼
加藤 綾香
丹波・丹後地方の麻呂子親王にま
つわる七仏薬師像—法界定印に
薬壺をもつ薬師如来像の事例紹
介を兼ねて— 刀襦 都未
資料紹介
帝塚山大学大学院所蔵の軒瓦 安達 奈央

◆まほろびすと まほろば会
〒630-8144奈良市東九条町6-4
TEL0742-50-2002 2012年創刊
www.maforovist.com
◇2 (1-2) 2012.4 A4 80p 600円
Photo de ことほぐ
遠出もいとわぬご朱印の旅 天河
大辨財天社／宝山寺／壺坂寺／
龍泉寺／室生寺／石光寺／宇太
水分神社／相摸神社／岡寺
夫婦で、奈良に住んでみました
社寺のご朱印見て比べ
春の奈良、かご弁当。 旬菜や／

栗 ならまち店／ICHIE／日本
料理 天平俱樂部／彩和奏 心
み／平宗 奈良店／田舎料理
草ノ戸
記紀万葉ツアリズム 八咫鳥の影
を追え 八咫鳥神社／宮滝／井
光鹿の井戸／吉野歴史資料館／
宇賀神社／淨見原神社／菟田の
高城／鳥見山中霊時跡
職人の道具箱 宮滝醬油
地元バス会社、こだわりの旅行企
画(奈良交通) 境界を守る御霊、
崇りのラインを訪ねる 記紀万
葉の悲劇の物語をたどる旅
神社の杜の、奥深く 古き神の杜
は、生き残った 宮家 美樹
地図で読み解く、埋もれた古代
地理で読み解く奈良の都城 多田 克己
ブルーライオンを連れて(プジョ
ー) 隠れ里の旬菜に会いに行
く
今この人に会いたい、伝えたい
鉄田憲男さん 南都銀行
ヤマトの美味・三輪素麺(巽製粉)
万葉集ゆかりの地で受け継がれ
る大和の美味
百年のインサイドストーリー (奈
良ホテル) 大人が愉しむ、甘
く優しい宵歩き
古代と対話するミュージアム
犬養万葉記念館
ナント・なら応援団 南と古社寺
の魅力を発信／今こそ巡りたい
奈良暦

中国・四国

◆北東アジア文化研究
鳥取短期大学北東アジア文化総合研究所

〒682-8555鳥取県倉吉市福庭854
TEL0858-26-1811 1995年創刊
www.cygnus.ac.jp/local/asia.html
◇35 2012.3 A5 58p
モンゴルの遊牧生活についての—
考察 綾木 義和
江戸時代の竹島＝独島での漁業と
領有権問題 朴 炳渉
研究ノート 梁伯戈・小孟鼎に見
える「鬼」について(1) 藤本 直子
アメリカにおけるバイオ燃料生産
の動向とその経済的含意 藤本 晴久

◆北東アジア文化通信
鳥取短期大学北東アジア文化総合研究所
〒682-8555鳥取県倉吉市福庭854
TEL0858-26-1811 1994年創刊
www.cygnus.ac.jp/local/asia.html
◇35 2012.4 B5 4p
ポスト3.11の説話研究とは—アジ
ア民間説話学会の課題と展望 鶴野 祐介
歴史と未来が共存する都市・羅州
齊木 恭子

◆郷土石見 石見郷土研究懇話会
〒697-0034鳥根県浜田市相生町2139-15
児島俊平方 TEL0855-22-2567 1976年創刊
◇89 2012.4 A5 135p 1200円
特報 浜田藩士・絵図方「土井恪
助」伝(上) 岩町 功
在野の民俗学者・大庭良美と三人
の師—没後十年に寄せて 山岡 浩二
人麿 石見に死す 小林 俊二
消えた川上村の一部—町村合併
(昭和30年)の遺したもの 森脇 登
美都の宝 都茂鉱山の盛衰 児高 房夫
棕梨藤太の逮捕劇 内谷 知
樹木の地方名 天谷 浩

青春残照(15)―占領政策の失敗 下垣 秀典
語り部の窓から「磐戸」は尊し 竹内 幸夫
町から村から
随想「石見の方言に魅せられて
…」 神本 晃
芸術家と興行師の二途―「評伝
島村抱月」を上梓して 岩町 功
書櫃の虫干―余録 大矢 幸子
資料 石見国銀山領馬路村の廻船
業について―近世後期から明治
期にかけての形態と動向 中安 恵一
芸芸 生きるということ 佐々木徳次

◆大社の史話 大社史話会
〒699-0701鳥根県出雲市大社町杵築東455-
1 馬庭孝司方 TEL0853-53-1582
年2500円 1974年創刊
www.taisha-shiwa-kai.jp
◇170 2012.3 B5 50p
第9回大社語ろう会 日御碕コミ
ュニティーセンター「ふるさと
まるかじり講座」について 木村 佳雄
宇龍大船頭―海的生活伝承 岩成 俊策
出雲弁よもやま話
―擬態語・擬声語の世界(2) 村上 清子
資料「出雲大社案内」 大正期中
頃の杵築市街地店舗図 馬庭 孝司
千家俊信と本居宣長との師弟関係
について 高塚 久司
大社の文化を学ぶ・受け継ぐ・創
る(4) 未来のエジソンをめざ
して 大社町少年少女発明クラブ
日本海運史料紹介(1) 出雲国鷲
浦船問屋讃岐屋旧蔵 船御改控
帳 藤澤 秀晴
大量青銅器の時代とその終焉 企
画展「弥生青銅器に魅せられた
人々」によせて 古代出雲歴史博物館

出雲弥生の森博物館企画展「古代
出雲のものづくり―織る・塗る
・熔かす・焼く―」 出雲弥生の森博物館
手銭記念館の四季
―杵築文学あれこれ(2) 佐々木杏里
書籍紹介1 『図説 出雲・雲南の
歴史』が発刊! 編集部
読者コーナー 編集部
書籍紹介2 『幕末維新 出雲真宗
海運史料』が発刊! 編集部
平成23年10月～12月出雲市大社町
年表 編集部

◆岡山の自然と文化 郷土文化講座から
岡山県郷土文化財団
〒700-0813岡山県岡山市石関町2-1
TEL086-233-2505 1982年創刊
◇31 2012.3 A5 293p
のれんによる町づくり 加納 容子
コンピュータ考古学で見た郷土の
文化財 新納 泉
医学から科学へ
―洋学者たちのあくなき挑戦 下山 純正
野鳥は大切な仲間―野鳥観察から
学んだ自然の仕組み 宮林 英子
第1回おかやま文化フォーラム「見
えてきた古代吉備の実像」

◆きび野 岡山県郷土文化財団
〒700-0813岡山市石関町2-1
TEL086-233-2505
◇125 2012.3 A5 14p
表紙説明 松原三五郎『桃』 妹尾 克己
随想
六十、七十は洩垂れ小僧… 岩根 宏行
ふるさとへの伝言 山田美那子
岡山の人物 光後玉江 田中 美穂
岡山の自然 ギフチョウ 渡部 晃平

岡山の文化財 八角園舎 乗岡 実
わが町・わが村の自慢
和気町藤公園(和気郡和気町)
ふるさとの想い出 高梁市立吹屋
小学校(高梁市成羽町)

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会
〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島
大学大学院文学研究科日本史学研究室内
TEL082-424-6643 年3000円 1953年創刊
◇280 2012.4 A5 50p
研究ノート 備後国の平氏家人
奴可入道西寂について 斎藤 拓海
史料紹介 広島県竹原市西方寺蔵
『引接山記』の翻刻 久保昭登/下山千賀子
2011年度 芸備地方史研究会大会
記事
研究報告要旨
中世後期中国山地の研究史をふ
りかえる 中司 健一
近世後期中国地方における鑪經
営の様相 笠井今日子
地域と大学の関係についての一
考察―広島青年師範学校と広
島大学水畜産学部 石田 雅春
研究報告要旨 参加記 湯谷 翔悟
動 向
新聞記事から(2006年7月～12月)
広島県の地方史研究
伊予史談会交流報告 玉井絵理香

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8
TEL084-953-6157 bingo-history.net
◇165 2012.4 A4 24p
草戸山城跡について 田口 義之
論考 三人の山内豊通―豊成、直
通、豊通三代について 木下 和司

御尋申上候 遠足で登った山は? 中西 太一
調査報告 国分寺裏山古墳群・表
山古墳群・下御領古墳群の分布
調査概要 篠原 芳秀
研究レポート 備後の開発地名 根岸 尚克
絵手紙だより 古墳調査 小川 直子
史料紹介 當村安右馬(嘉忠とも
云)御死置ノ由 坂本 敏夫
四ツ堂探訪(2) 市内随一の石仏
密度 県道筋地藏堂(駅家町服
部) 田口 由実
郷土探訪 郷愁の鐵路「消えた尾
道鉄道」 岡田宏一郎
例会報告
ぶら探訪 壱「本庄を歩く」に
参加して 永久 信吾
ぶら探訪で本庄散歩 中西 太一
絵手紙だより 国分寺仁王像 小川 直子
山城レポ 続・怨霊の城
身投げの谷 末森 清司
紀行文 対馬紀行(1) 三好 勝芳
大分便り 頭取の墓 後藤 匡史
おすすめの図書 「環境考古学へ
の招待」(松井章 岩波新書)
発掘からわかる食・トイレ・戦
争 岡田宏一郎
慶祝ニュース 半生を振り返って
出内 博都
随想 往事茫々 土肥 基良
事務局便り 行事案内/各部会学
習会・講座

◆広島民俗 広島民俗学会
〒731-0211広島市安佐北区三入1-26-24
岡崎環方 TEL082-818-3497
1974年創刊
◇77 2012.3 A5 60p 500円

新会長に三村泰臣氏
事務局移転のお知らせ
平成23年度総会・研究会
基調講演「菓子と民俗文化」 神田三亀男
シンポジウム「広島の子と食文化」 大谷博国／伊藤実／杠由利榮／
小田廣子／神田三亀男／栗原秀雄
今様「餅」「雑煮」考—そして「お
節料理」—呉市下蒲刈町 柴村敬次郎
ひざぬりの里越原を訪ねて
水野恵子／正木真理子

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会
〒723-0062広島県三原市本町1-9-27
福岡幸司方 TEL0848-62-2935 年3600円
◇253 2012.4 B5 12p 100円
今月の各地 平清盛が厳島神社へ
もたらしたもの 大本 静人
山陽新幹線 三原駅誘致秘話(2) 西原 達夫
八幡敷事件の謎(完結編) 大谷 和弘
古浜の今昔(5) 山根 光博
◇254 2012.5 B5 12p 100円
今月の各地
道の駅「みはら神明の里」 正兼 鐵夫
レキカン春のハイキング感想文
春のハイキングについて 川上 哲司
「中世山城の探訪」に参加して 行武 郁子
山陽新幹線三原駅誘致秘話(3) 西原 達夫
古浜の今昔(6) 山根 光博

◆やまぐち学の構築
山口大学研究推進体「やまぐち学」推進プ
ロジェクト
〒753-8511山口県山口市吉田1677-1
TEL083-933-5000
◇8 2012.3 B5 89+46p
巻頭言 田中 誠二
維新时期山口藩財政史研究序説 田中 誠二

厚狭郡埴生浦における魚糶場と仕
入—長門国瀬戸内海沿岸地域に
おける魚市場の一形態 木部 和昭
林家文書の小郡宿史料群—宰判大
庄屋と山陽道宿場の運営 中野美智子
佐賀県有明海側の草屋根葺き習俗
坪郷 英彦
言語景観研究における実験的アプ
ローチの試み 有元 光彦
見島ジーコンボ古墳群「俘囚墓説」
小考 横山 成己

◆徳島県立博物館研究報告
〒770-8070徳島市八万町向寺山 徳島県文
化の森総合公園 TEL088-668-3636
1991年創刊
www.museum.tokushima-ec.ed.jp
◇22 2012.3 B5 168p
ヤイロチョウ *Pitta brachyura nympha*
ha から得られた *Strongyloides* 属
線虫の初記録 吉野智生／早川大輔／吉澤
未来／長雄一／浅川満彦
アサギマダラの移動に関する徳島
県の記録(2011年) 大原賢哉／山田量崇
剣山系の蛾類(1)
—2009年の調査結果 広渡俊哉／小林茂樹
／池内健／山田量崇
徳島市津田海岸町で発見された四
国初記録のアルゼンチンアリ
大原賢二／山田量崇
徳島県におけるエゾゼミ属4種の
分布域及び棲息環境について
山田量崇／大原賢二／林正美
徳島県の礫浜海岸における四国初
記録のキタフナムシとマメアカ
イソガニ 和田 太一
吉見哲夫氏の『阿南市津乃峰町「結
の岩屋」下の遊歩道遺跡の調査

について(調査メモ)』紹介 高島 芳弘
徳島藩の蒸気船—「徳島藩蒸気船
乾元丸購入一件(一)」の紹介と
翻刻 松永 友和
答礼人形「ミス徳島」に関する米
国ノースウェスト芸術文化博物
館所蔵資料 大原賢二／長谷川賢二
徳島県に漂着したトゥダイグサ科
Omphalea 属の種子 濱直大／茨木靖
徳島県に新たに発見されたナンゴ
クヒメミソハギ *Ammannia auric*
ulata Willd. (ミソハギ科)
茨木靖／小川誠／木下覺／中村俊之
徳島県におけるコガタウミアメン
ボの漂着記録 山田量崇／濱直大
徳島県的那賀川河口から採集され
たオオクヌメリ *Eleutherochir*
opercularis (ネズボ科 Calliony
midae) 土居敏幸／佐藤陽一／尾嶋百合香
／伊藤道啓／小藤美樹／三島隆伸
徳島県立博物館に寄贈された後期
白亜紀アンモノイド *Libycoceras*
および後期デボン紀植物 *Leptop*
bloem の登録 辻野 泰之
東日本大震災により被災した植物
標本の修復 小川 誠

◆徳島県立博物館ニュース
〒770-8070徳島県徳島市八万町向寺山
徳島県文化の森総合公園 TEL088-668-3636
1990年創刊
www.museum.tokushima-ec.ed.jp
◇86 2012.3 A4 8p
とおーい海からどんぶらこ
渚に流れ着いたココヤシ 茨木 靖
Culture Club フランスのジュラ
紀・白亜紀層見学旅行記 辻野 泰之
徳島県立博物館平成24年度特別陳

列 海からどんぶらこ—浜辺の
漂着物
野外博物館 植物の動きが作り出
す不思議な模様 小川 誠
情報ボックス
大名の格付ランキング 松永 友和
Q & A 虫喰では8月にひなまつ
りをするって本当ですか? 庄武 憲子
4月から6月までの博物館普及行事
あなたも参加してみませんか?

九州・沖縄

◆市史研究ふくおか
福岡市博物館市史編さん室
〒814-0001福岡市早良区百道浜3-1-1
TEL092-845-5245 2006年創刊
◇7 2012.3 A4 108p
《特集 九州と東アジア—辛亥革命の衝撃—》
公開講演「九州と東アジア—辛亥
革命の衝撃—」の掲載にあたっ
て 有馬 学
講演
宮崎滔天と辛亥革命
ジョシユア・A・フォーゲル
辛亥革命後の「日支親善」論—
第一次大戦期の中野正剛と安
川敬一郎 有馬 学
資料紹介
大正二年の孫文の来日と亡命 石瀧 豊美
「近代」における「伝統藝能」の
形成—筑前琵琶の場合(3) 松本 常彦
コラム 嗚呼!閑話 関 一敏
福岡市西区・小戸古墳群の測量調
査 辻田淳一郎／主悦英徳
海の中道〜奈多砂丘採集の旧石器
・縄文時代資料の紹介 藤木 聡
奈多砂丘B遺跡の地質調査
下山正一／黒木貴一／磯望

奈多砂丘B遺跡第2次調査出土の
植物遺存体
小畑弘己／小林克也／杉山真二
奈多砂丘B遺跡の発掘調査 宮本 一夫
福岡市史編さん事業活動記録

◆宮崎県地域史研究 宮崎県地域史研究会
〒880-8520宮崎県宮崎市船塚1-1-2
宮崎公立大学 大賀研究室気付
TEL0985-20-2000 1993年創刊
◇26 2012.3 B5 51p
農業補習学校における農業教育 竹村 茂紀
『長門本平家物語』硫黄島配流道
行き説話の研究状況 柴田 博子
2011年度宮崎大学卒業論文要旨

◆徳之島郷土研究会報
〒891-7101鹿児島県大島郡徳之島町亀津
2918 徳之島郷土資料館内
TEL0997-82-2908 年2000円
◇32 2012.4 B5 144p
西郷隆盛と仲為と仲祐 先田 光演
徳之島民俗語彙誌(20) 川野 誠治
開拓心を継承 得岡誠二郎
奄美の郷土教育の充実について 義岡 明雄
徳之島・下久志の民俗文化稿 本田 碩孝
徳之島採集手帖(「私の子ども時
代の遊びについて」中村憲良、
「郷土研究会報31号を読んで」
亘余世夫)／寄贈図書紹介／会
報22～28号までの目次紹介
国立公文書館・つくば分館所蔵の
明治12年・大島郡竿次帳につい
て 松山 哲則
島津藩の奄美・琉球侵略四百年間
連の主な集い 仙田 隆宜
「徳之島事情」に見る兼久関係記
述について 寺師 孝則

内から見る徳之島比較文化論
一幸せの物差し 松岡 由紀
武州丸からのメッセージ(紙芝居)
一子ども地域と共同の実践から
平和の文化構築 幸多 勝弘
初代大親徳之島首里之衆(主)来島
450年を迎えるにあたって 義岡 明雄

◆季刊 沖縄 (助沖縄協会)
〒112-0004東京都文京区後楽1-2-9
エー・ゼットキュウビル5階
TEL03-5803-2341 1996年創刊
homepage3.nifty.com/okinawakyoukai/
◇42 (17-1・2) 2012.4 A4 68p 300円
沖縄振興の今後の展望 清水 治
亜熱帯沖縄の木や森や里山(3)一
萌芽による森の更新(下) 新里 孝和
渡名喜島一大地(フウジ)と離(ハ
ナレ)の琉球史(2) 高良 倉吉
シリーズ第4回 八重山に残る組
踊台本について一石垣島を中心
に 鈴木 耕太
第33回沖縄研究奨励賞
受賞記念講演
琉球弧と周辺地域の団体地球科
学—マグマ学からのアプロー
チ 新城 竜一
遺跡出土動物骨からみた琉球列
島における人と自然の関係史
樋泉 岳二
「語りつぎ部」一孫が伝える沖縄戦
Topics／沖縄協会だより／沖縄覚
書

◆竹富町史だより 竹富町教育委員会
〒907-0012沖縄県石垣市美崎町11-1
TEL0980-82-6191 1992年創刊
◇33 2012.3 B5 22p

『竹富町史』第二巻「竹富島」を
発刊
第29回 竹富町史編集委員会
業務日誌 2011年度
異人は「マニラ」の人々か? 八
重山蔵元絵師画稿と波照間島漂
着人をつなぐ 里井 洋一
文化財探訪 (25)
北村隊の砲座跡 通事 孝作
聖地めぐり(27) 前泊御嶽
写真に見るわが町(28)
ウミンチュの村
記念碑を訪ねて(8)
古見塩浜原開拓記念碑
新聞で知る町の今昔(19)
石西礁湖にある小島に新地名
平成23年度受贈図書一覧／竹富町
史の刊行物

◆宮古島市総合博物館紀要
〒906-0011沖縄県宮古島市平良字東仲宗根
添1166-287 TEL0980-73-0567
◇16 2012.3 B5 177p
宮古島のルーツを探る 長濱 幸男
高腰城跡から出土した馬歯のC14
年代測定について一附録、高腰
城跡出土馬歯の年代測定 長濱 幸男
戦時期の沖縄県会における宮古・
八重山の諸問題一昭和12年11月
の第55回議事録から 来間 泰男
宮古島のヌグスクガー(野城泉)に
おけるチスジノリ属藻の現状 藤田 喜久
宮古島で確認されたホソバフジボ
グサについて 佐藤 宣子
サシバの歌一伊良部島を訪ねて 本永 清
琉球弧宮古諸島に視る古層の環世
界一女性是集落の生い立ちを抱
いた 奥濱 幸子

独逸皇帝博愛記念碑建立の顛末 砂川 玄正
「宮古の地名」を歩く(3) 地名の
語る「宮古の歴史と文化」 仲宗根將二
宮古の説話と世界像
一「旧記類」の神話を中心に 宮川 耕次
宮古島市・八重干瀬の天然記念物
を目指して一地形と地質 安谷屋 昭

寄贈図書紹介

◆東北地方における環境・生業・技術に関す
る歴史動態的総合研究 平成19年度～平成
23年度私立大学学術研究高度化推進事業
「オープン・リサーチ・センター整備事業」
研究成果報告書Ⅰ・Ⅱ
東北芸術工科大学東北文化研究センター編・
刊(〒990-9530 山形県山形市上桜田3-4-5
TEL023-627-2168) 2012年3月 A4
Ⅰ(456頁)
〔第1部 総論〕研究成果の概要(田口洋美)
／完新世の東北地方における生態系史一縄文
時代の人為生態系(辻誠一郎)
〔第2部 各論(基礎研究)〕
考古班 東北地方における縄紋時代の構造変
動(安斎正人)／縄文人は定住していたか?一
民族考古学から見た狩猟採集民の定住行動
(佐藤宏之)／縄文社会論と日本考古学(佐々
木藤雄)／クマと土偶とシャマンと(小林克)
／北上川中流域における縄文時代中期集落に
関する基礎的研究(菅野智則)／富並川流域に
おける縄文時代の遺跡動態一西海湖・川口・
宮の前遺跡の検討を通して(小林圭一)／縄文
時代におけるクッキー状炭化物の炭素・窒素
同位体分析(國木田大)／縄文時代における森
林資源利用と栽培(佐々木由香)／仙台平野中
北部における弥生時代・平安時代の津波痕跡
と集落動態(斎野裕彦)／北日本における古代
の土鍋調理(北野博司・小林正史)

歴史班 骨寺村・本寺地区における中心の変遷について(入間田宣夫)／中山間地生業の変遷ー岩手県一関市巖美町本寺地区を中心に(竹原万雄)／牧野の野焼きー盛岡藩の藩牧を中心に(菊池勇夫)／猟師(マタギ)居村の変遷ー「弘前藩庁御国日記」から(村上一馬)／近世から近代にかけての飛鳥一特に「生業知」の観点から(中村只吾)

民俗(人類)班 東北山村における近現代の変容ー奥会津・三島町を事例として(川合正裕)／近現代の東北地方におけるイノシシの分布動態(蛭原一平)／東北地方の山伏神楽・番楽と地域社会(菊地和博・星野紘)／東北に見る民俗芸能の昭和・平成史(星野紘)

Ⅱ (385頁)

〔第3部 環日本海比較研究(応用研究)〕 日本海沿岸地域のタブノキをめぐる民俗と景観(今石みぎわ)／韓国の共同体における祭祀と産屋の民俗について(李恵燕)／時と人の流れの中でのチャイナドレスー移住者・ディアスポラたちの生活文化(謝黎)／環日本海北部における極東型新石器文化群の共通性と多様性ー極東ロシア南部の新石器文化と日本列島北部の縄文文化の比較にもとづいて(福田正宏)／学内WS「極東ロシアと東北地方との相対研究の可能性」(座談会録)／学内研究会「東北地方および極東ロシアにおける頭信仰」(講演会録)

〔第4部 東北地方を中心とした環境の歴史動態を把握する試みに関する年表〕

〔第5部 映像アーカイブの高度な活用：視覚的な記録資料の作成と利活用〕 地域資料の活用とデジタルアーカイブス(岸本誠司)／「東北地方における木造小型和船と漁村集落の変遷」(座談会録)／木造小型和船実測図一覧／景観のモニタージュー多旋律的な関係の具体(田口洋美)／集落図・鳥瞰図／公開講座「放射能汚染と東北の自然」(講演会録)

〔第6部 本事業の概要一覧〕 出張・フィールド調査一覧／研究会・シンポジウム一覧／本事業による刊行物一覧／本事業に関する新聞記事等掲載一覧／本事業による図書資料の収集状況

◆吉川市史 資料編 近世

吉川市史編さん委員会編 吉川市 (〒342-0055 埼玉県吉川市吉川1-21-13 吉川市教育委員会生涯学習課市史編さん係 TEL048-984-3563) 2012年3月 B5 612+63頁

1997年から編さん事業が開始された『吉川市史』(全7巻)の4冊目。吉川市域に関係した天正18年(1590)から慶応4年(1868)までの資料304点を収録する。序(戸張胤茂)／刊行にあたって(木村弘子)／編集にあたって

〔吉川と江戸を結ぶ川(近世)〕 近世の村のはじまり(概説、家康の関東入国と領主支配、新田開発と検地、伊奈氏の地方支配、川沿いの村々、鷹狩りと農民、農民の年貢負担)／川や用排水路の改修と水争い(概説、治水と江戸川の開削、用排水路の成立と模様替え、水害と救済、河川や用排水路の管理、様々な水論)／変わりゆく農村(概説、村の役人と議定、村の負担とお救い、村の争論、改革組合と村)／川を活かした農業と商い(概説、川を活かした暮らし、農業と諸稼ぎ、川と市の賑わい、近江日野商人の進出)／村人の生活と文化(概説、村人と家、村のなかの生活文化、旅と文人)／寺社と信仰(概説、幕府による保護と統制、市域の寺院・神社、暮らしの中の信仰、社殿・堂宇の建築・改築、仏教絵画、彫像・金石資料)／幕末期の村々(概説、ペリー来航と村々の動向、幕末の災害、幕府の崩壊と村々)

年表(資料編近世)／索引

◆新八王子市史 資料編5 近現代1

八王子市史編修委員会編 八王子市 (〒193-0943 東京都八王子市寺田町1455-3 八王子

市総合政策部市史編さん室 TEL042-666-1511) 2012年3月 A5 978頁

昭和33年から43年にかけて編纂・刊行された『八王子市史』(上下・附巻)の後をうけて、市制施行100周年を記念して平成19年度から開始された『新八王子市史』(全14冊)編纂事業の第1回刊行。明治7年(1874)から昭和40年(1965)までの、現在の八王子市域に関わる公文書493点を収録する。

口絵／刊行にあたって／監修のことば／凡例／総目次／細目次／編修の経過について 明治前期の八王子(解説、明治前期の村運営、明治前期の村社会、明治前期の教育)／明治中後期の八王子(解説、明治中期の八王子町、明治後期の八王子町、明治中期の村、明治後期の村)／大正期の八王子(解説、大正期の八王子町・市、大正期の村)／昭和戦前期の八王子(解説、昭和戦前期の八王子市、昭和戦前期の町村)／戦時下の八王子(解説、日中戦争の開始、国家総動員体制の確立、防空態勢の整備、産業・労働の転換と1940年体制の形成、日米開戦と市民、戦争末期の状況)／戦後復興期の八王子(解説、敗戦直後の状況、戦後改革の開始と展開、復興政策と戦後生活の状況、市政の展開と占領政策の終了)／昭和の大合併と八王子市の出発(解説、南多摩郡「六か村」との合併、南多摩郡浅川町との合併、南多摩郡由木町との合併、神奈川県相模湖町との合併協議)

◆八王子市西部 恩方の民俗

新八王子市史民俗調査報告書1 八王子市市史編修専門部会民俗部会編 八王子市総合政策部市史編さん室(同上) 2012年3月 A4 279+10頁 『新八王子市史』編纂事業の一環として、平成22年度に行われた八王子市恩方地区における民俗調査報告書。口絵／大正・昭和の上恩方ー小川家のアルバムから／恩方地区全図／

刊行にあたって(石森孝志)／八王子市史民俗編の調査と編さんー監修にあたって(小川直之)／恩方地区の概要／社会生活／生産・生業／住まいと環境／衣食をめぐる暮らし／年中行事／人生儀礼／寺社と民間信仰／民俗芸能／口承文芸／関係者一覧／索引

◆文化都市 千代田ー江戸の中心から東京の中心へ 平成23年度文化財特別展 千代田区立日比谷図書文化館文化財事務室編 (〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4) 千代田区教育委員会刊 2012年1月 A4 95頁

江戸城を囲むように武家屋敷・町屋・神社仏閣がひろがっていた幕末の千代田地域について、それぞれの特徴、そして明治維新後にどのように移り変わっていったのかを紹介。千代田の明治維新／武士から官僚へ／あきないの変化と世相／寺社一信仰と娯楽の拠点／江戸の夕栄ー明治中期の江戸懐古／町方の明治維新とその後(加藤貴)／幕末維新期における下町神田地域の庶民教育ー手習塾から私立小学校へ(石山秀和)／コラム 「江戸の生き残り」が語る江戸(滝口正哉)

〔別冊 史料集〕(A4・30頁)

図録に収録した史料のうち47点の重要史料と「見立番付」4点を翻刻・収録する。

◆新横須賀市史 通史編

自然・原始・古代・中世 横須賀市編・刊 (〒238-8550 神奈川県横須賀市小川町11 横須賀市総務部総務課 市史編さん担当 TEL046-822-8150) 2012年3月 A5 758+216頁 4000円

2004年から刊行が開始された新市史(全15巻)の第11回配本。旧石器時代から天正18年(1590)8月の徳川家康の関東入部までの横須賀および三浦群域の歴史を叙述する。序(山中裕)／目次／凡例／旧石器時代(旧石器時代の自然環境と文化、三浦半島の旧石器時代

遺跡とその文化、コラム 考古学と歴年代)／縄文時代(縄文時代とその自然環境、コラム 完新統から産出する貝化石群集と縄文時代の貝塚、縄文文化の成立と変容―草創期・早期、コラム 縄文時代に漁撈対象となった魚類、環状集落の成立と地域性の顕在化―前期、集落構造の深化と地域圏の成立―中期、集落の変容と外湾性漁撈文化の発達―後期、激減する遺跡と縄文時代の終焉―晩期)／弥生時代(三浦半島における弥生時代の定着、弥生人の暮らしと生活、弥生社会の変貌)／古墳時代(古墳時代のはじまり、古墳時代前期の三浦半島、古墳時代中期の三浦半島、古墳時代後期の集落と墓制、古墳時代終末期の集落と墓制、コラム 琴を弾く)、原始 掲載図版一覧・参考文献／古代の三浦半島(考古学からみた古代の三浦半島、文献からみた古代の三浦郡、三浦氏の登場、平安時代の信仰、コラム 系図と武士成立論)／鎌倉時代の三浦半島と三浦一族(治承・寿永の内乱と三浦一族、鎌倉幕府と三浦一族、鎌倉時代前期の政治と三浦一族、三浦一族の信仰と社寺、三浦一族の地方展開、鎌倉時代後期の政治と三浦一族、三浦半島地域の名勝と村落、三浦半島の寺院と信仰、コラム 三浦一族周辺の女性たち)／南北朝・室町時代の三浦半島と三浦一族(元弘・建武の内乱と三浦氏、南北朝内乱と三浦氏、室町時代の三浦氏と三浦半島、三浦一族の全国展開、信仰世界の展開、コラム 南北朝時代の有徳人の木像)／関東動乱と三浦氏(鎌倉府の滅亡と三浦氏、享徳の乱と三浦氏、三浦氏の領国支配、三浦氏の滅亡、コラム 伝承・芸能の世界の三浦氏)／戦国大名北条氏と三浦郡(玉縄城主の三浦郡支配、北条氏規の三浦郡支配、戦国の村と地域社会、戦国の終焉、コラム 浦郷の領主朝倉氏)、古代・中世 掲載図版一覧・参考文献／略年表／執筆分担／史料所蔵者・

協力者／あとがき／横須賀市史編さん関係者名簿／『新横須賀市史』発刊計画／付図 三浦半島の地質図

◆新修名古屋市史 資料編 現代

新修名古屋市史編集委員会編 名古屋市(〒461-0011 名古屋市東区白壁1-3 名古屋市市政資料館 TEL052-953-0051) 2012年3月 B5 971頁

『新修名古屋市史』本文編全10巻完結(2001年10月)をうけて2006年3月から刊行が開始された資料編第9冊として、第二次世界大戦終結直後から高度経済成長が始まった昭和35年頃までの資料566点を収録する。占領下の名古屋(敗戦直後の混乱、焦土からの出発、占領下の市民生活、占領政策と行政、民主化の進展、占領政策の転換と国際社会、講話条約の発効と占領の終結、解説)／戦後の市政(市長・市会議員等の選挙、行政組織の改革、特別市制、周辺市町村との合併、将来計画のあゆみ、伊勢湾台風被災後の対応、解説)／経済の復興(農業、工業、商業・流通、財政・金融、企業再編と労働運動、伊勢湾台風の被害と対応、解説)／戦後のまちづくり(戦後の土地区画整理事業(組合施行)、戦後の応急簡易住宅建設とその後の経緯、戦後名古屋市内における住宅政策、名古屋市における都市不燃化政策、伊勢湾台風による建築物被害と復興、解説)／民主教育の出発(旧秩序からの脱却、六・三制の発足、新教育への対応、新教育への支援、伊勢湾台風被害への対応、解説)

◆三田市史2 通史編Ⅱ

三田市まちづくり部生涯学習支援室生涯学習課市史編さん担当編 三田市(〒669-1532 兵庫県三田市屋敷町12-27 TEL079-559-4466) 2012年3月 A5 1090+39頁
平成5年度(1993)から開始された三田市史編さん事業の完結となる『三田市史』全12巻のうち通史編第2分冊。

第4部 近代の三田(維新の激動と新たな町村の成立、日清・日露戦争と地域社会の変容、第一次世界大戦とデモクラシー、「第二次世界大戦」と地域社会、戦後の三田における地域社会の形成)／第5部 三田市政のあゆみ(市政前史 三田町の成立、西藤市政期、赤尾市政期、岡崎市政期、塔下市政前期、塔下市政後期、岡田市政期)／第6部 市民生活のあゆみ(市民の安全、農業の展開、商業と工業の展開、衛生・医療・福祉、教育と文化、地域コミュニティとまちづくり)／『三田市史』の完成にあたって／参考文献一覧／写真・図・表・目次／付属資料 三田市広報映画選(DVD)

◆続 みはら物語 三原文庫第19号別冊

福岡幸司編著(〒723-0062 広島県三原市本町1-9-27 TEL0848-62-2935) 2012年1月 B6 104頁 1000円

「みはら歴史と文化の会」の代表でもある筆者が発行する「三原文庫」第19号(2011年刊)に掲載された浄瑠璃本『みはら物語』(万治2年(1659)3月、山本九兵衛板)の訳文を小説風

に補筆・修辞して、新たに劇上の人物と史上の人物との対比、原作の浄瑠璃→操り人形→クグツの紹介を付け加える。

『みはら物語』原文の書出と終 桜山・大目木(カラー写真)／目次／備中・備後地図／序奏 うちまさとは(山名氏系図)／訳文 『みはら物語』粗筋と人脈／第一段 書き出し(挿絵 氏正邸、呪いの場)／第二弾 城攻めの事(挿絵 市丸最後、城外乱闘)／第三段 三原の城、落城(挿絵 入道御自害)／第四段 御台若君、道行(挿絵 延寿城落、褒美)／第五段 東善寺訴人、最後(挿絵 住持成敗)／第六段 国平知略若君出世(無紋旗、重茂最後)／終曲 操り、クグツ、古要舞、人形相撲／私の履歴書

◆お詫びと訂正

前号 110 掲載の図書紹介記事に誤りがありました。お詫びして訂正します。

53頁左8・9行 近世海運民俗史研究

誤「口絵 柳田国男から胡桃沢勘内宛の葉書」
正「口絵 柳田国男から胡桃沢勘内宛の葉書」

◆後記

明治大学史資料センターでは2007年から、日本近世村落史研究の第一人者で元学長 木村礎の総合研究(木村礎研究会：代表・門前博之文学部教授)を進めており、私もその一員に加わらせていただいている。木村の研究業績は改めて述べるまでもないが、「木村の研究についての大きな特徴は、学生の教育をも兼ねたその方法にあった」(門前：はしがき「大学史紀要 第16号 木村礎研究Ⅰ、2012.3)。その方法とは、教員、学生、院生、卒業生で共同研究隊を組織し、自炊道具を持ち込んで合宿、村中を隈なく歩いて一点残らず古文書を記録し、景観を目に焼きつけ身体に記憶させるといったものであった。回数は41年間で113回に及んでいる。研究会では発足以来毎夏、木村と学生たちが歩いた道を辿ることを続けている。今年は、香取市下小野の合宿先とした寺院、山中の水場、集落移動のあった古屋敷跡地などの他、佐倉市、印西市を回ったが、遠路電車とバスを何度も乗り継ぎ、現地ではひたすら自分の足に頼り、夜は蚊とゴキブリに悩まされるという当時の様子の一端に触れ、村とそこに暮らす人々の生活に根ざした研究とはこういうことかと思い知らされた。大汗をかいて訪ねた農家の庭先でいただいた、スイカと瓜の塩漬けのなんと美味しかったことか。(飯澤)

